

# 島根支部における医療費の状況と傾向（第10版）

---

平成30年度第1回 健康づくり推進協議会



《資料の構成》

I. 島根支部の傾向	P3
II. 医療費をベースとした分析	P4～21
III. 医療供給体制をベースとした分析	P22
IV. 健診データをベースとした分析	P23～29
V. 業態別の分析	P30～38
VI. 市町村別の分析	P39～61

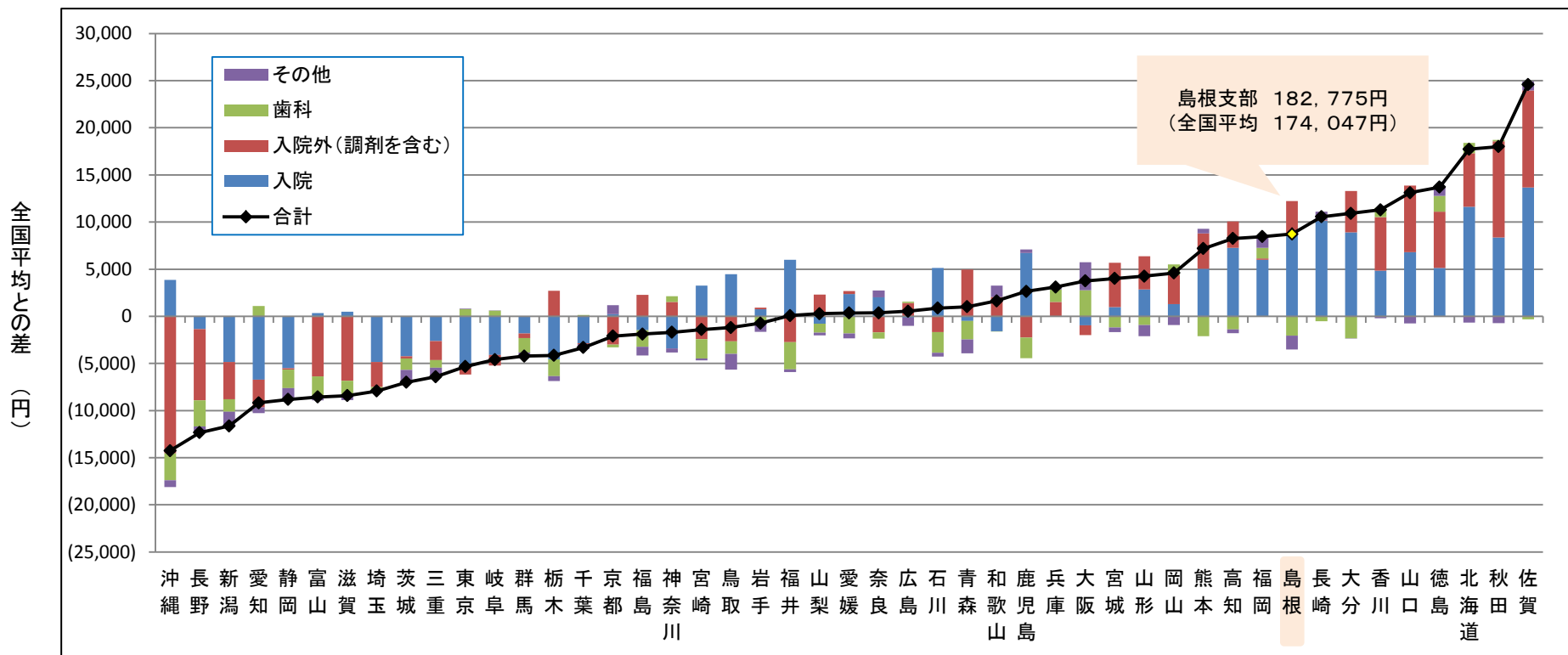
## I. 島根支部の傾向

- 加入者1人当たり医療費は全国平均を上回っており、特に入院医療費が高額になっている。…P4～7
- 医療機関への受診率が、入院、入院外ともに全国平均より高く、特に入院については、1件当たりの日数が長いこともあり、結果、受診率が高くなり、医療費が高額になる要因となっている。…P7
- 加入者1人当たり入院医療費は、男性の10歳代以外の年代(10歳刻み)で全国平均を上回っている。…P8
- 全年齢階級において、疾病分類「精神及び行動の障害」での入院件数が多く、入院1件あたりの入院日数も長い。…P14～21
- 島根県は人口10万人当たりの病院病床数が全国で15番目に高く、同一般診療所数は全国で2番目に高い。…P22
- メタボリックシンドロームにかかるリスク保有率については、代謝リスクと血圧リスクの保有率が男女ともに全国平均を上回っている。…P24～29
- 業態別のメタボリックシンドロームにかかるリスク保有率においては、すべての項目で「その他運輸業」が最も高く、1人当たりの医療費も2番目に高い。…P30～36
- 市町村別では、加入者の1人当たり医療費は津和野町に次いで川本町が高く、被保険者のメタボリックシンドロームのリスク保有率は川本町が最も高い。  
また、メタボリックシンドロームのリスク保有率上位3市である江津市・浜田市・大田市は、被保険者1人当たり医療費においても上位となっている。…P39、P53
- 生活習慣病予防健診の受診率が高い市ほど、被保険者1人当たり医療費が低い傾向にある…P60

## Ⅱ. 医療費をベースとした分析

### 1. 都道府県支部別 加入者1人当たりの医療費の状況

#### (1) 全国平均との差(平成28年度)



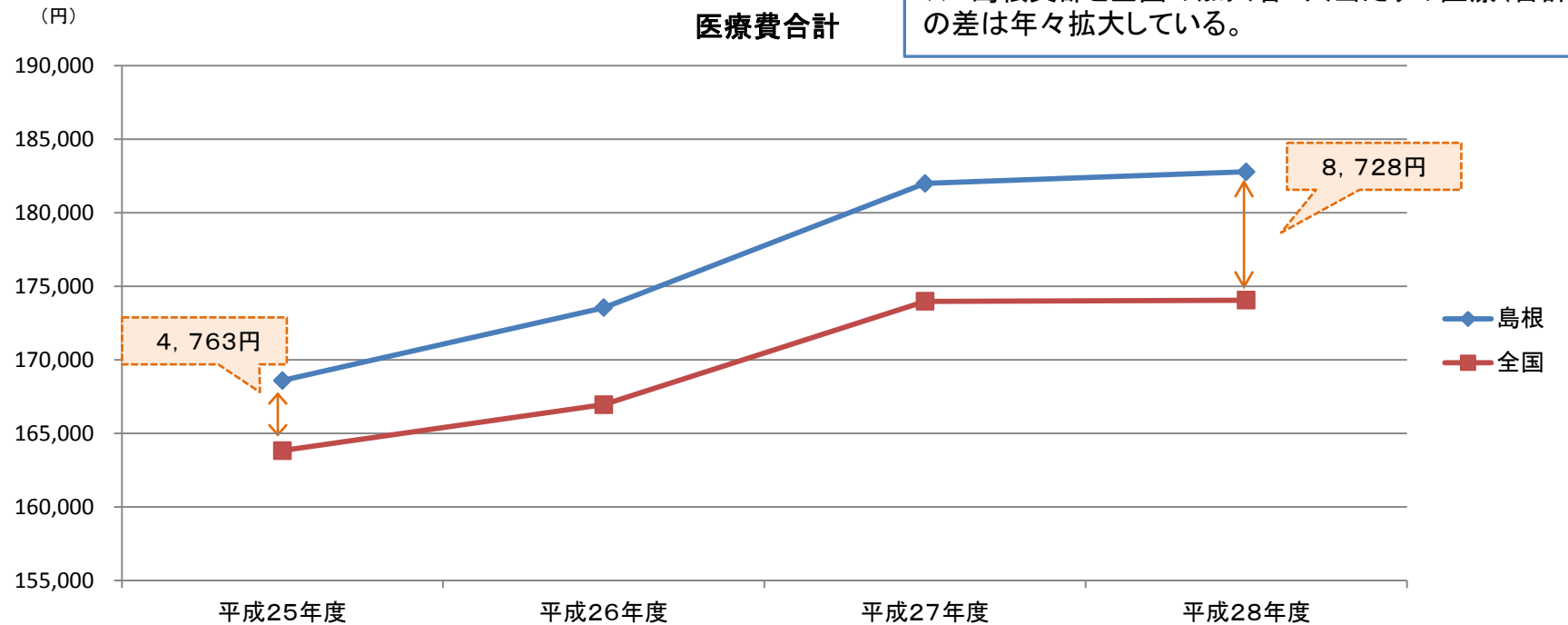
※ 医療費は、社会保険診療報酬支払基金審査分(入院、入院外、歯科、調剤、入院時食事療養費・生活療養費、訪問看護療養費)、療養費(柔道整復療養費等)、移送費に係るもの。  
 図中の「その他」は、入院、入院外、歯科、調剤以外の医療費。

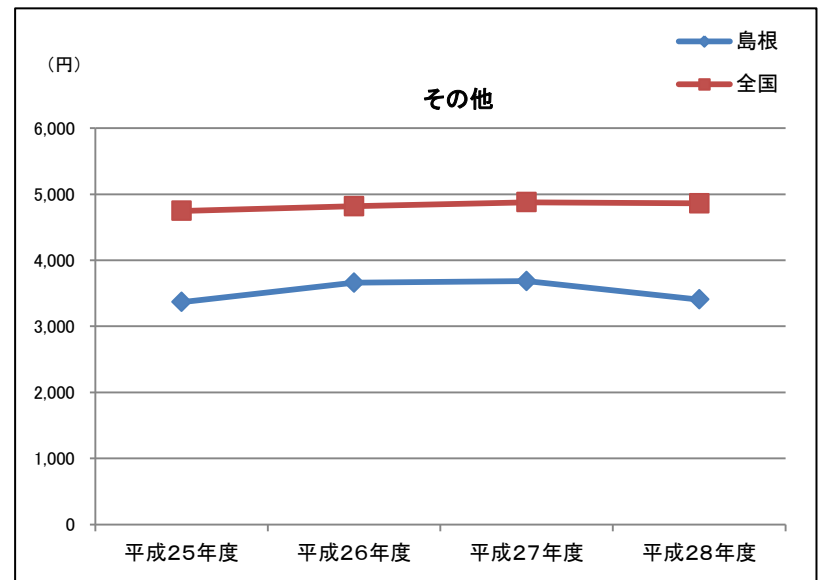
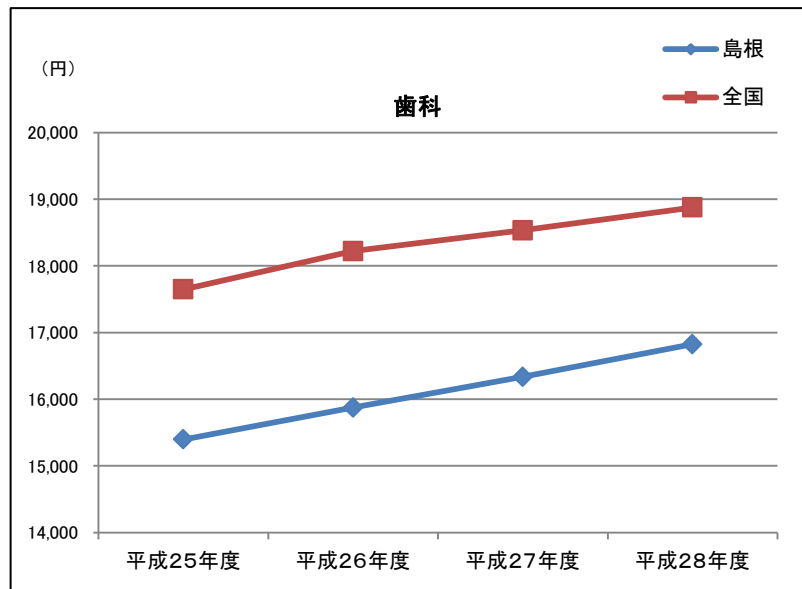
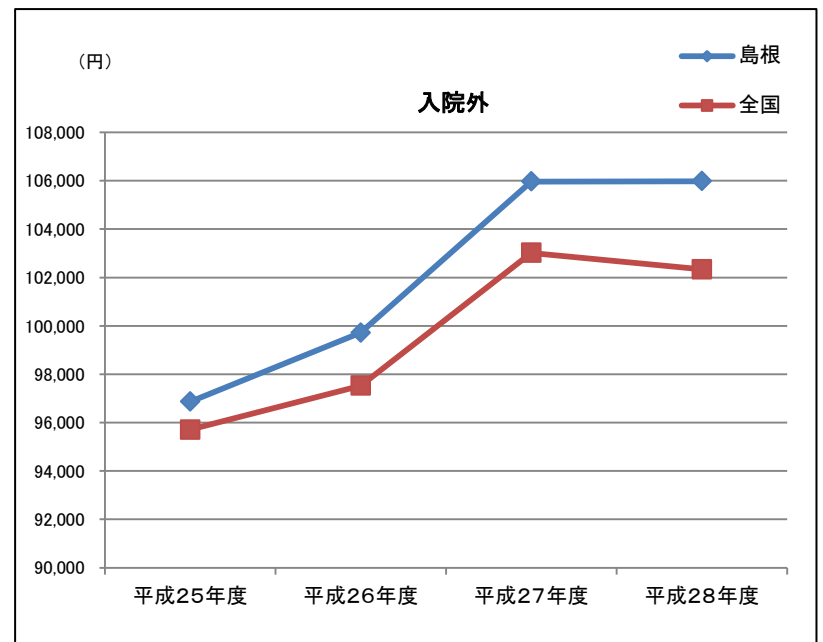
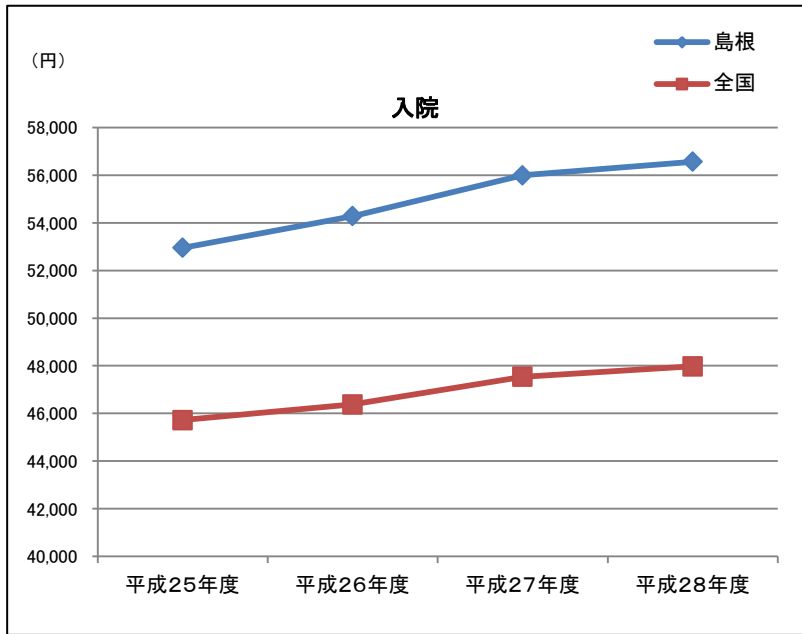
★ 島根支部の加入者1人当たりの医療(合計)は182,775円で全国で9番目に高い。特に、入院の1人当たりの医療費は、全国で5番目に高い。

(2) 加入者1人当たり医療費の推移(島根・全国)

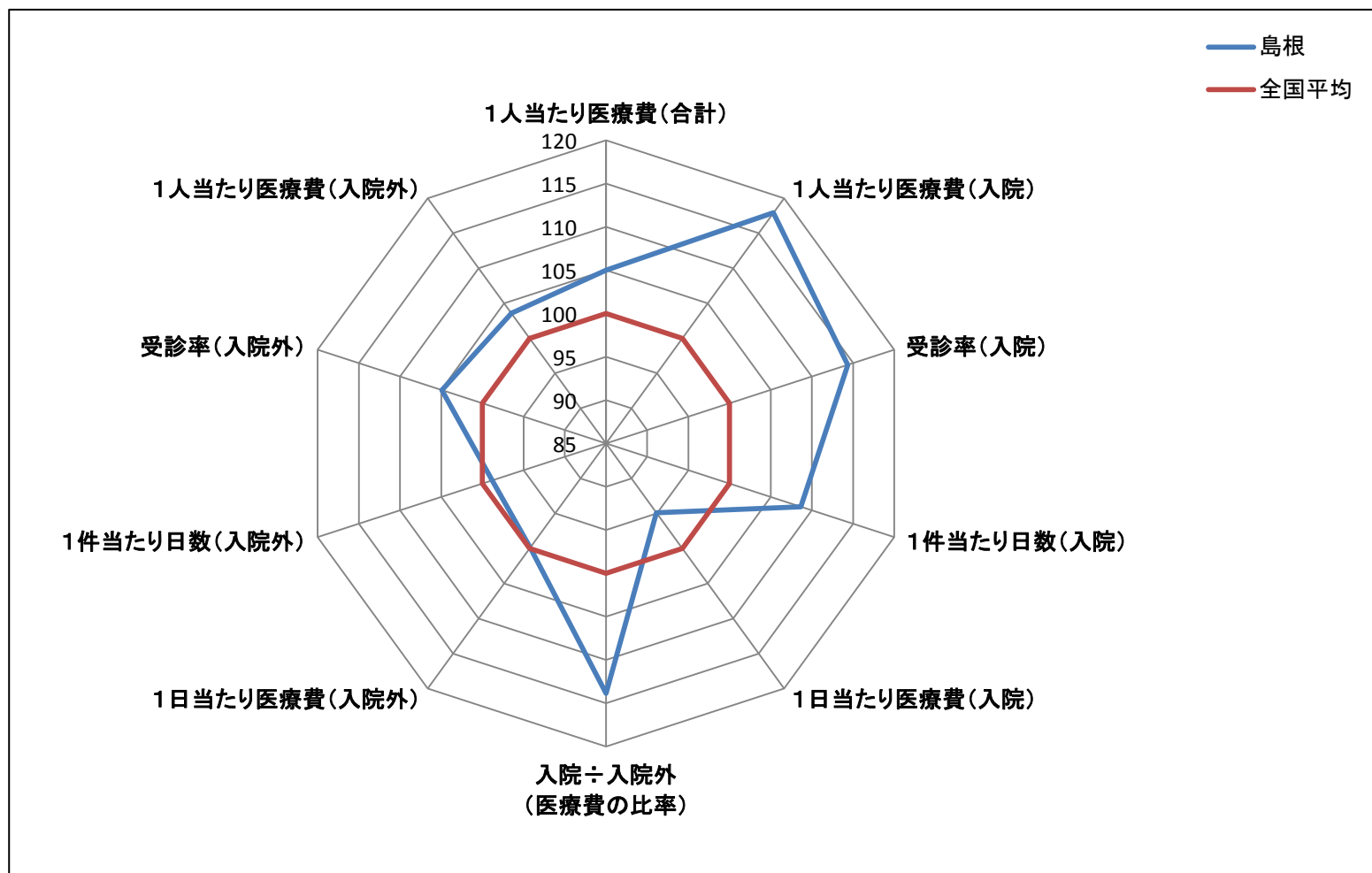
(円)

年度	区分	入院	入院外 (調剤を含む)	歯科	その他	合計
平成25年度	島根	52,956	96,862	15,396	3,366	168,580
	全国	45,716	95,704	17,648	4,748	163,817
平成26年度	島根	54,285	99,715	15,875	3,658	173,533
	全国	46,379	97,528	18,221	4,816	166,944
平成27年度	島根	55,993	105,969	16,335	3,684	181,981
	全国	47,539	103,018	18,533	4,877	173,966
平成28年度	島根	56,568	105,979	16,823	3,405	182,775
	全国	47,979	102,332	18,876	4,860	174,047





(3) 加入者1人当たり医療費にかかるレーダーチャート(入院・入院外)【平成28年度】



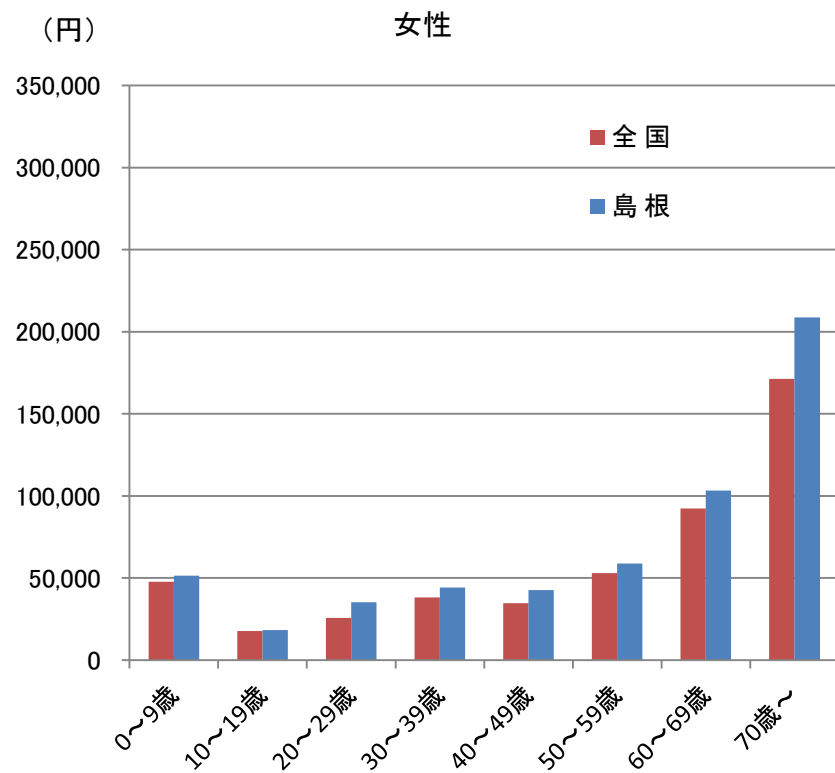
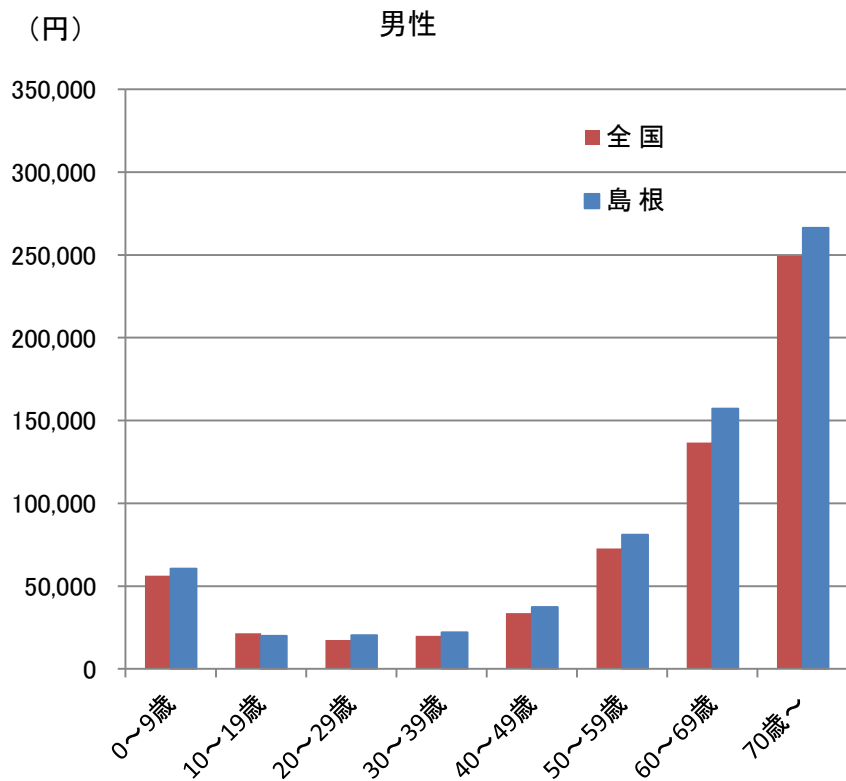
★ 入院医療費について、全国に比べ、1日あたりの医療費は低い、受診率(※)が高く、1件当たりの日数が長いため、1人あたり医療費が高くなっている。

(※) 受診率: 一定期間内に医療機関にかかった人の割合を示す指標



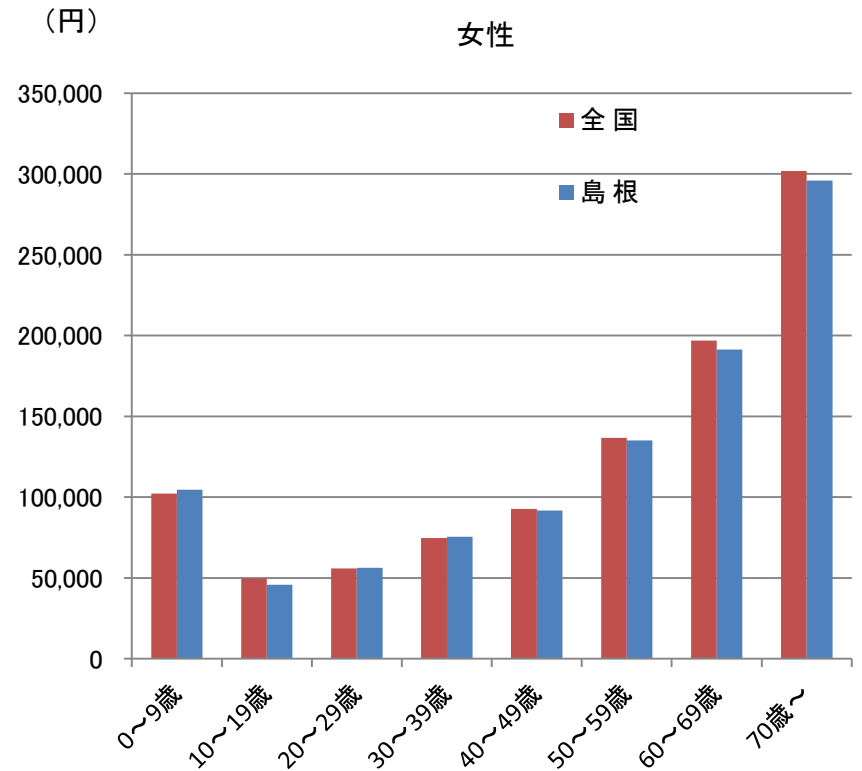
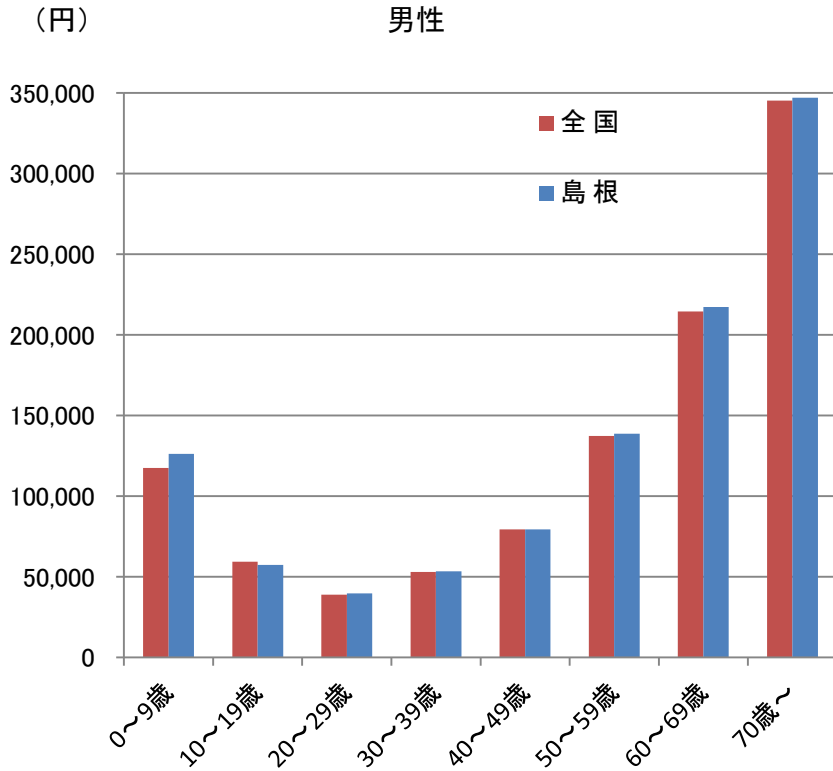
## 2. 1人あたり医療費の性・年齢階級別分析

### (1) 入院の加入者1人あたり医療費(平成28年度)



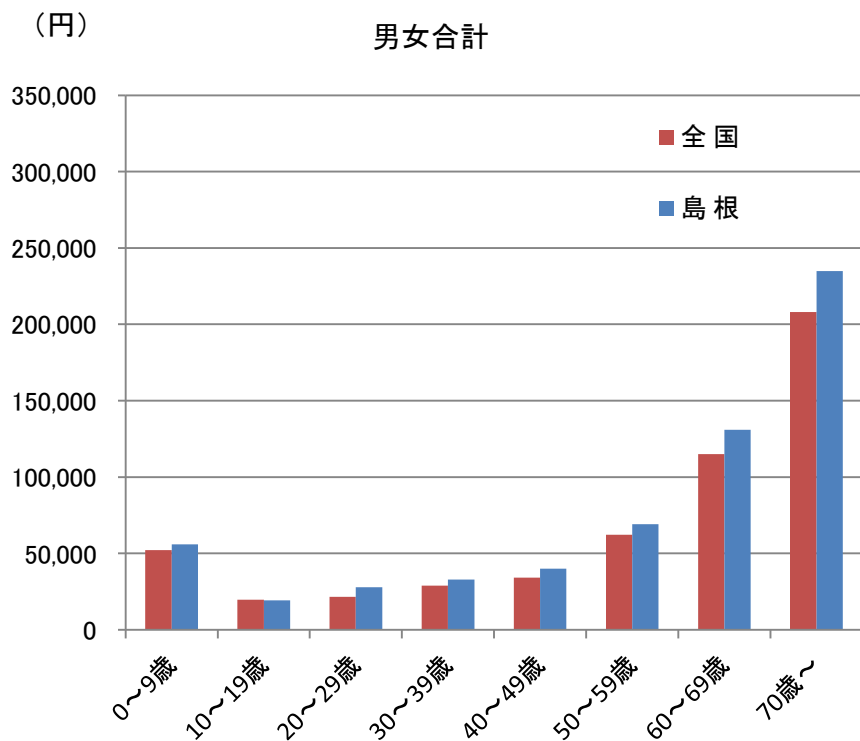
★島根支部の入院の加入者1人当たりの医療費は、男性の10～19歳を除いたすべての年齢層で全国平均を上回っている。特に女性の70歳～においては全国平均と37,000円以上の差がある。

(2) 入院外の加入者1人あたり医療費(平成28年度)

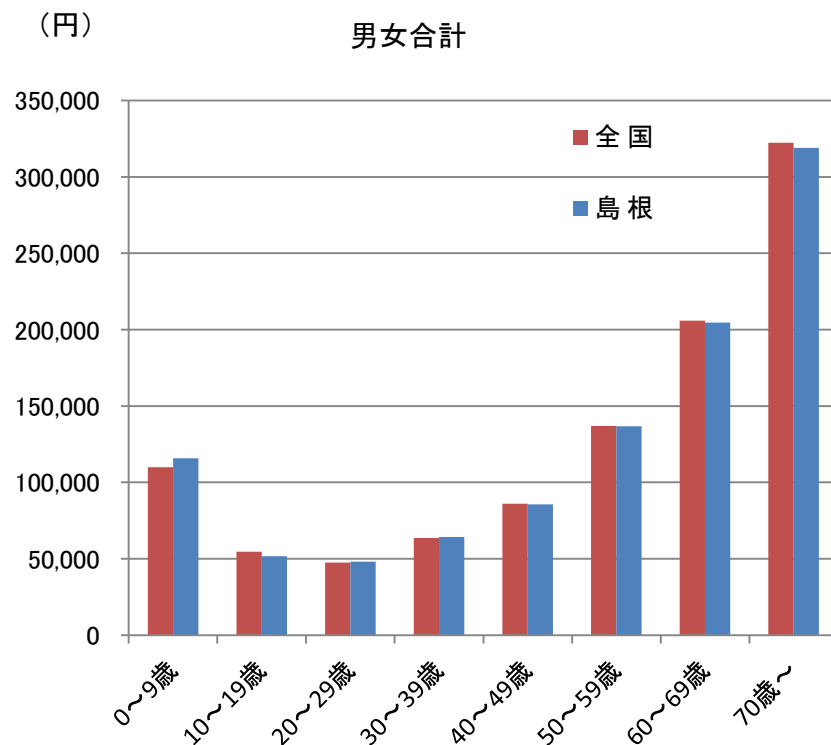


★島根支部の入院外の加入者1人当たりの医療費は、男性の10~19歳を除いたすべての年齢層で全国平均を上回っている。女性においては0~9歳、20~29歳を除いたすべての年齢層で全国平均を下回っている。

(3) 入院の加入者1人あたり医療費(平成28年度)



(4) 入院外の加入者1人あたり医療費(平成28年度)



★島根支部は入院の1人あたり医療費が10～19歳を除いたすべての年齢層で全国平均よりかなり高くなっている。入院外では0～9歳を除いて全国平均と近似しているため、入院での医療費の差が全国との差になっていることがわかる。

(参考)年齢層別加入者数

年齢階級	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	総計
加入者数	28,558	31,778	31,262	38,985	43,372	39,046	35,721	5,153	253,874
割合	11.2%	12.5%	12.3%	15.4%	17.1%	15.4%	14.1%	2.0%	100.0%

※全国平均より割合が多い箇所の色を濃くしています

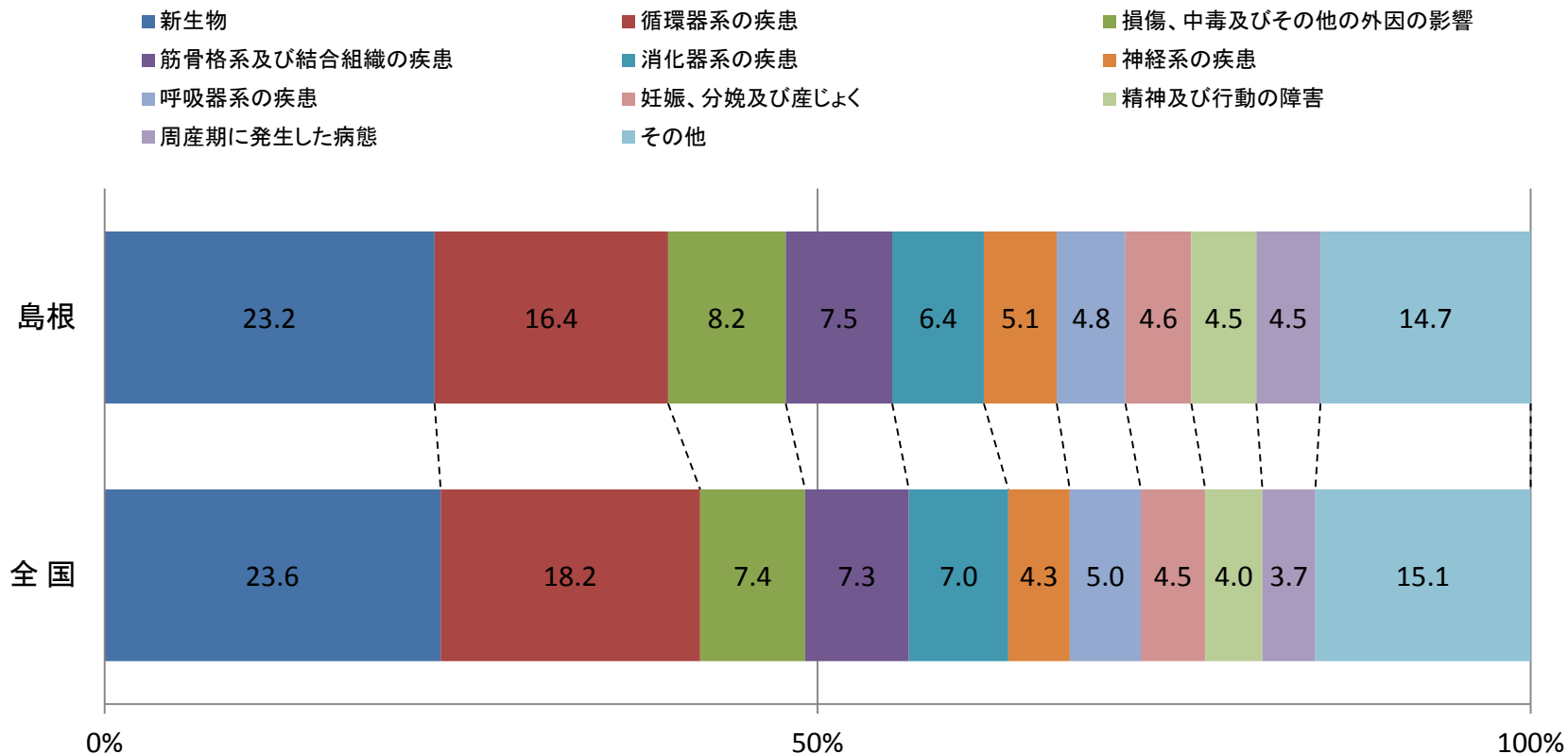
年齢階級	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	総計
加入者数	4,069,666	4,452,869	5,077,432	6,168,572	7,131,036	5,598,635	4,495,270	724,150	37,717,631
割合	10.8%	11.8%	13.5%	16.4%	18.9%	14.8%	11.9%	1.9%	100.0%

★島根支部の加入者は全国と比較して、0～19歳及び50～74歳の割合が多い。また、0～9歳及び50歳以上は入院の加入者1人あたり医療費が高いことから、島根支部の入院医療費が高止まりしているものと考えられる。

### 3. 医療費の疾病分類別構成比

入院

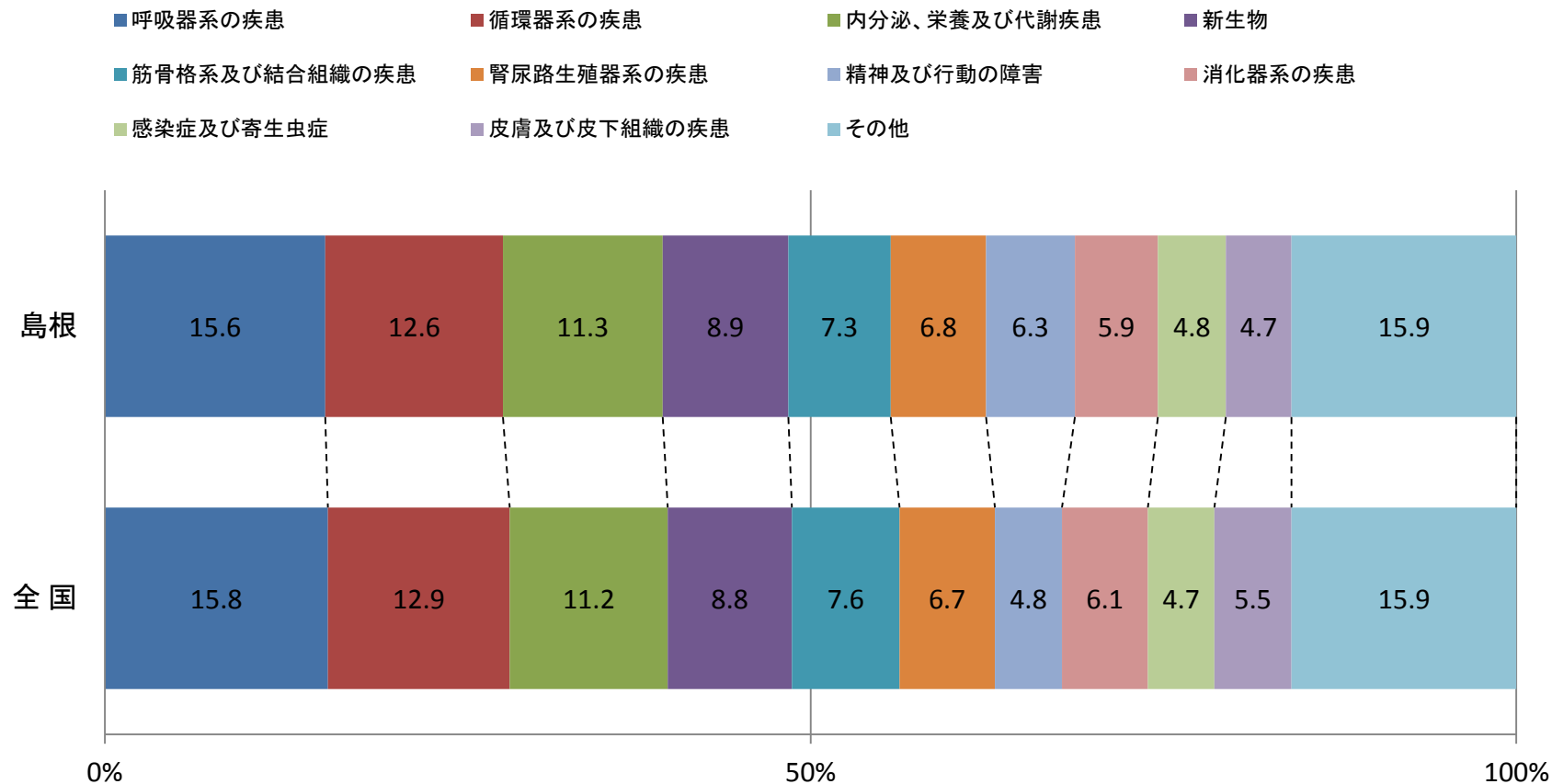
(1) 入院医療費の疾病分類別構成比(平成28年度)



※ 傷病別の医療費は、平成28年4月～平成29年3月分のレセプト(入院については電子レセプトのみ、入院外については電子レセプト及び電算機で作成されたレセプト(続紙付レセプトを除く))の集計値。入院外レセプトと調剤レセプトを接続させている。

## 入院外

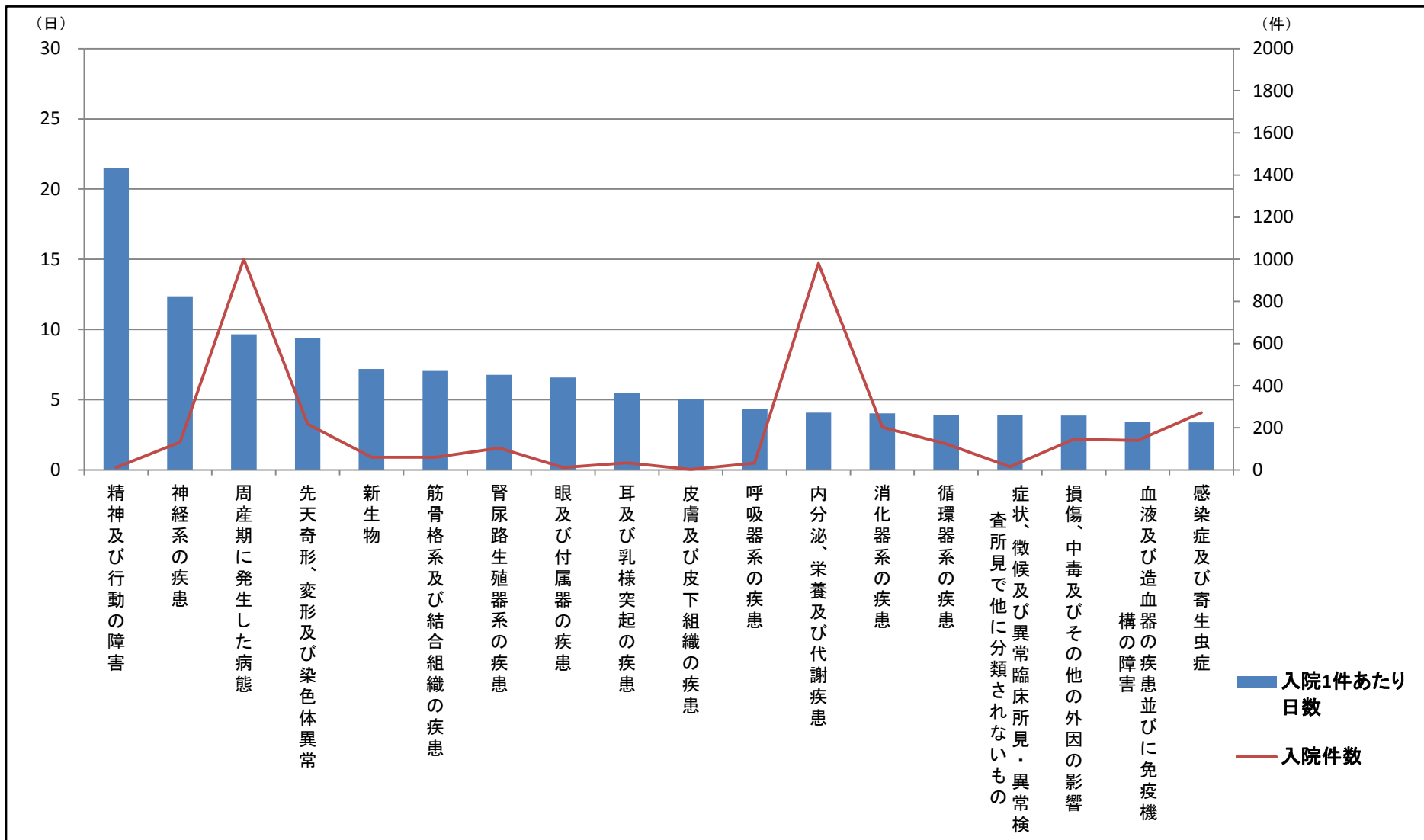
(2) 入院外医療費の疾病分類別構成比(平成28年度)



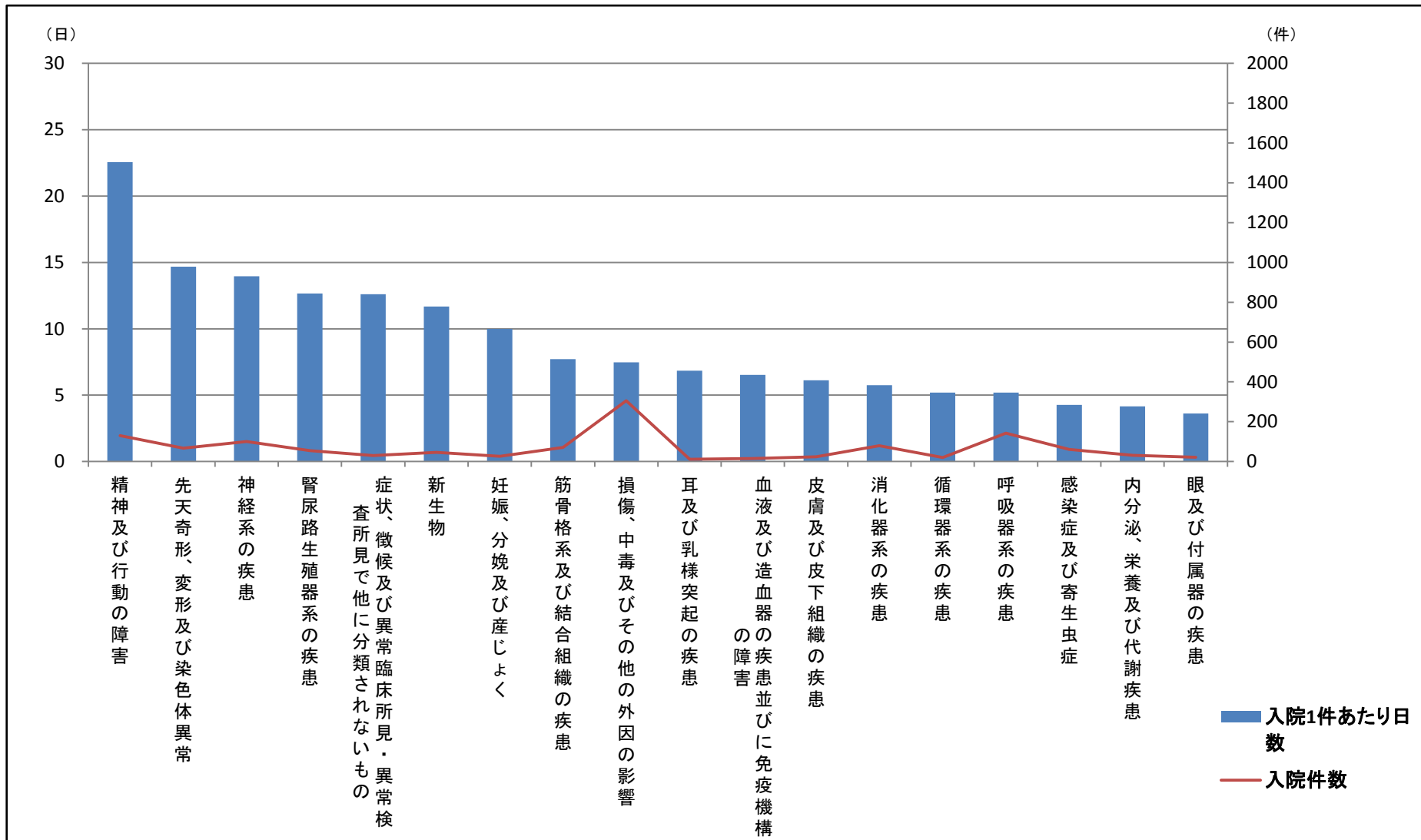
★島根支部の疾病分類別構成比は、入院でやや差が見受けられるも、入院外ともに全国と比較して大きな差は見受けられない。

#### 4. 疾病分類別に見た入院1件当たりの入院日数(年齢階級別)

##### (1) 0～9歳の疾病分類別入院1件あたり日数および入院件数

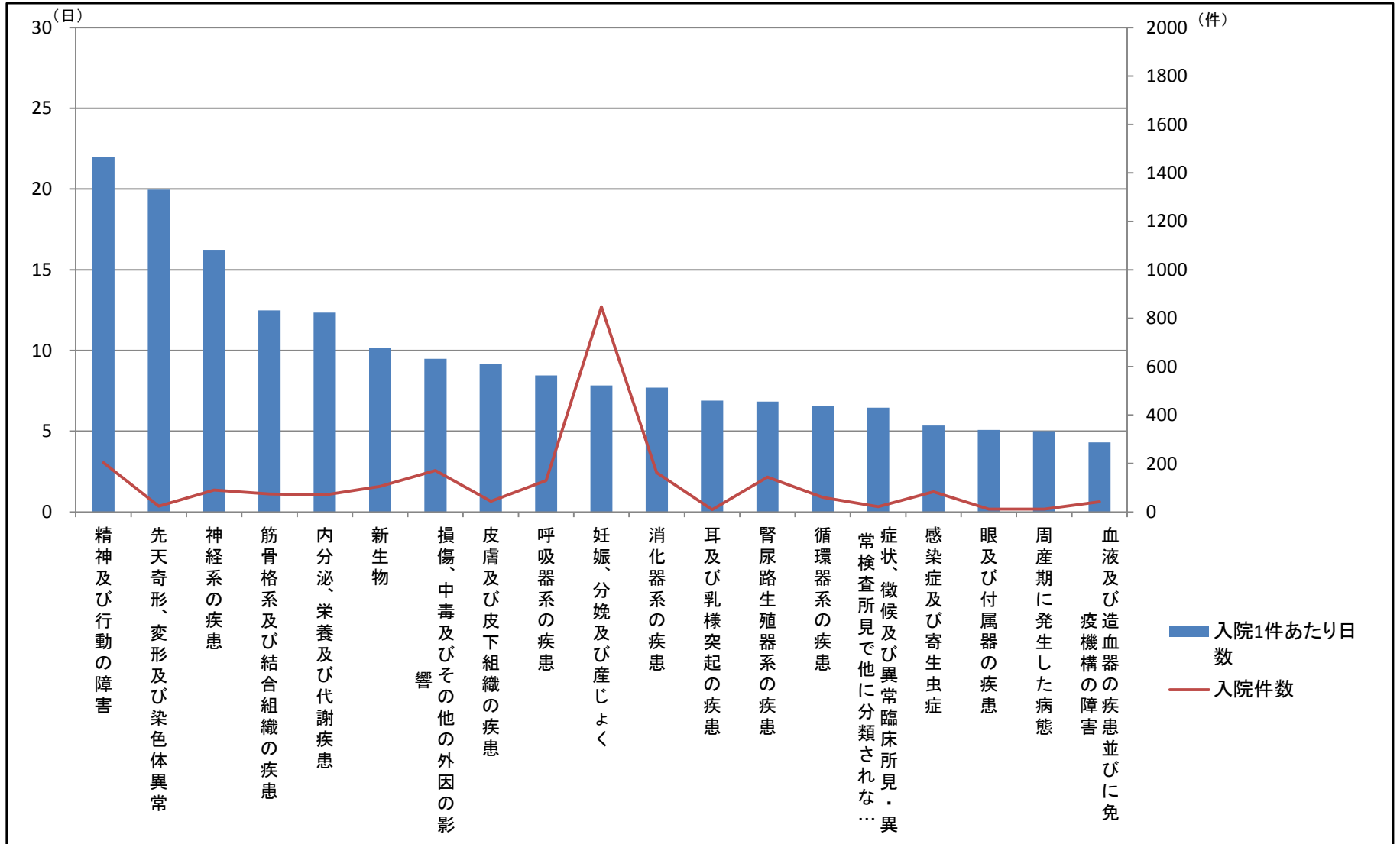


(2) 10～19歳の疾病分類別入院1件あたり日数および入院件数

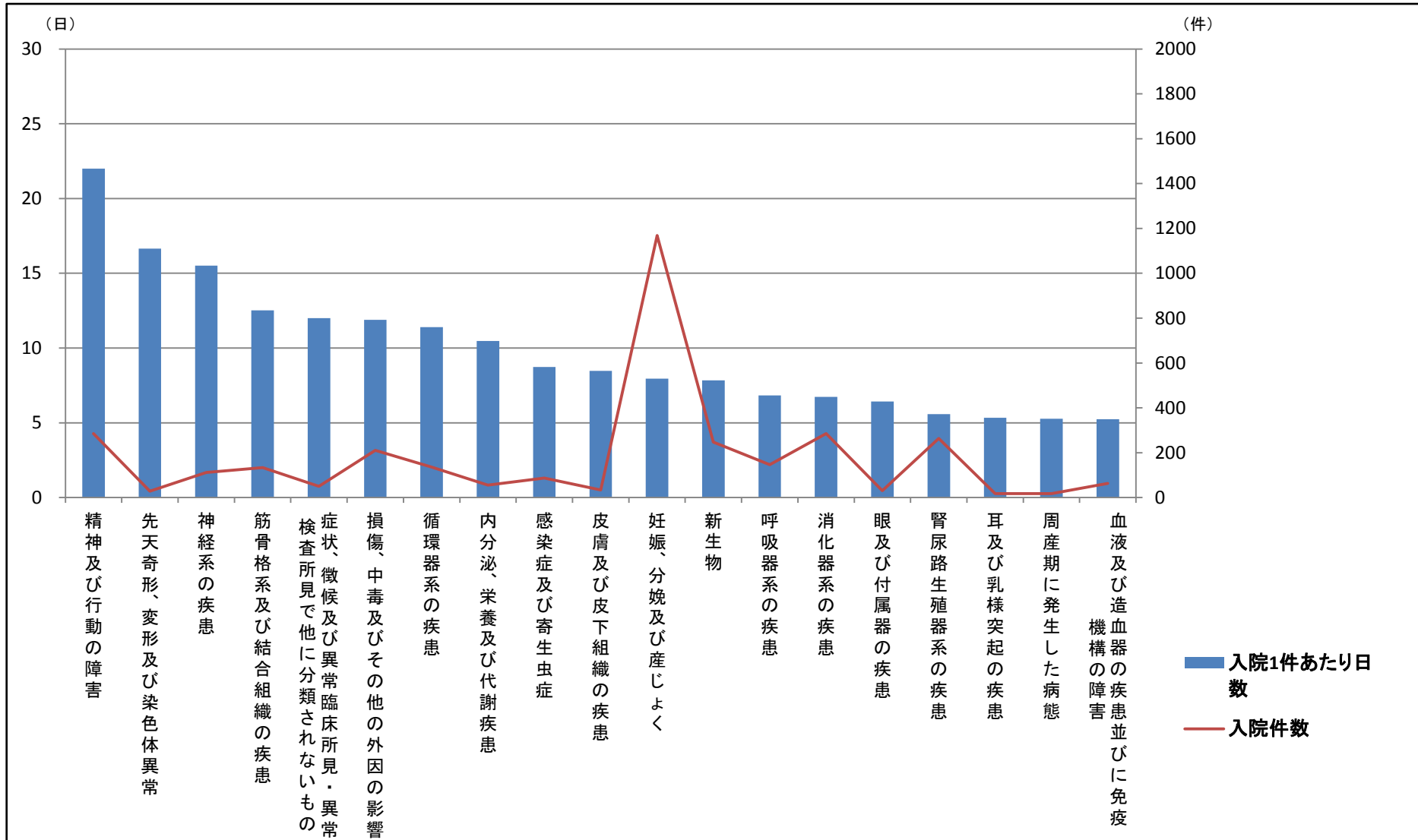




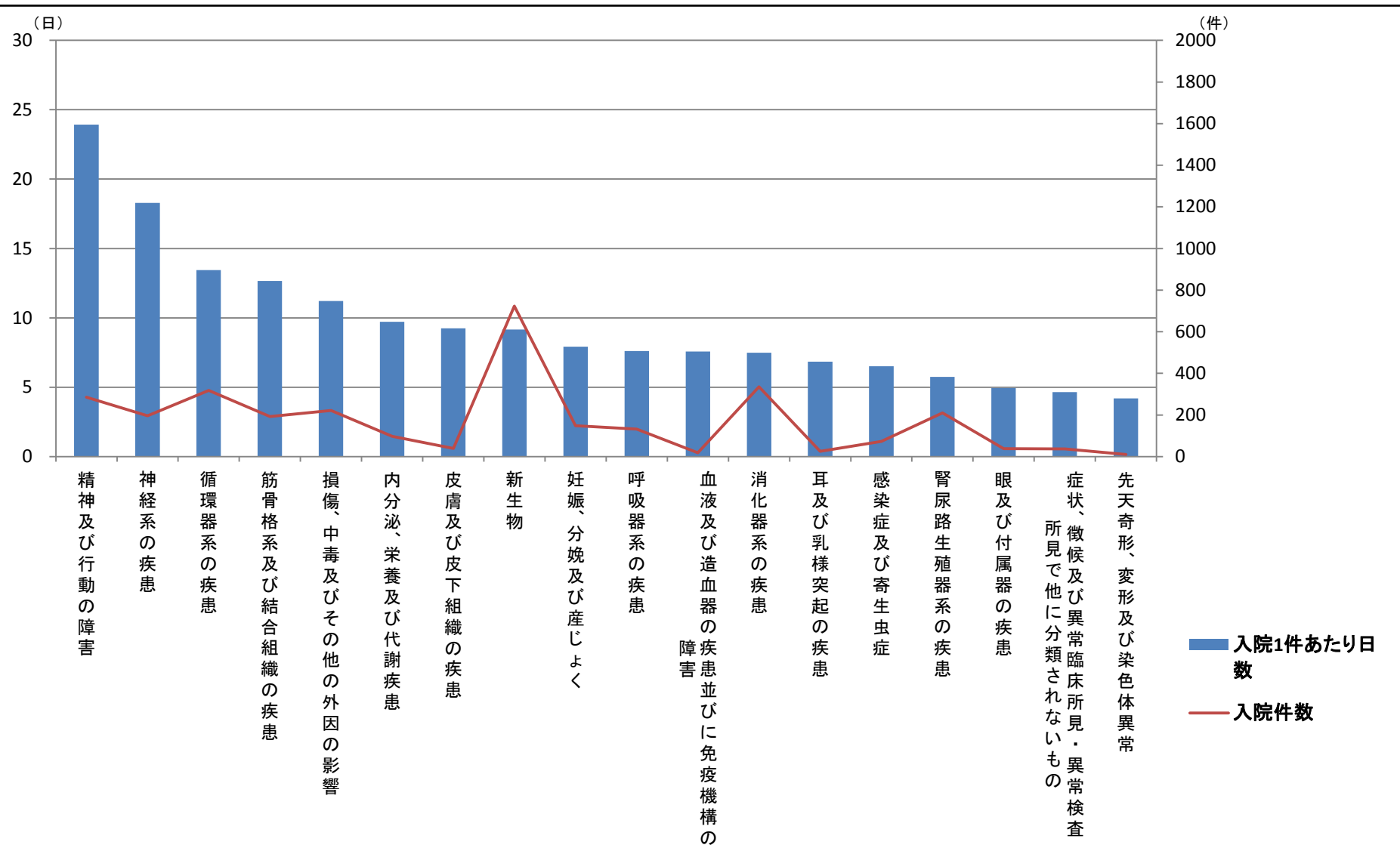
(3) 20～29歳の疾病分類別入院1件あたり日数および入院件数



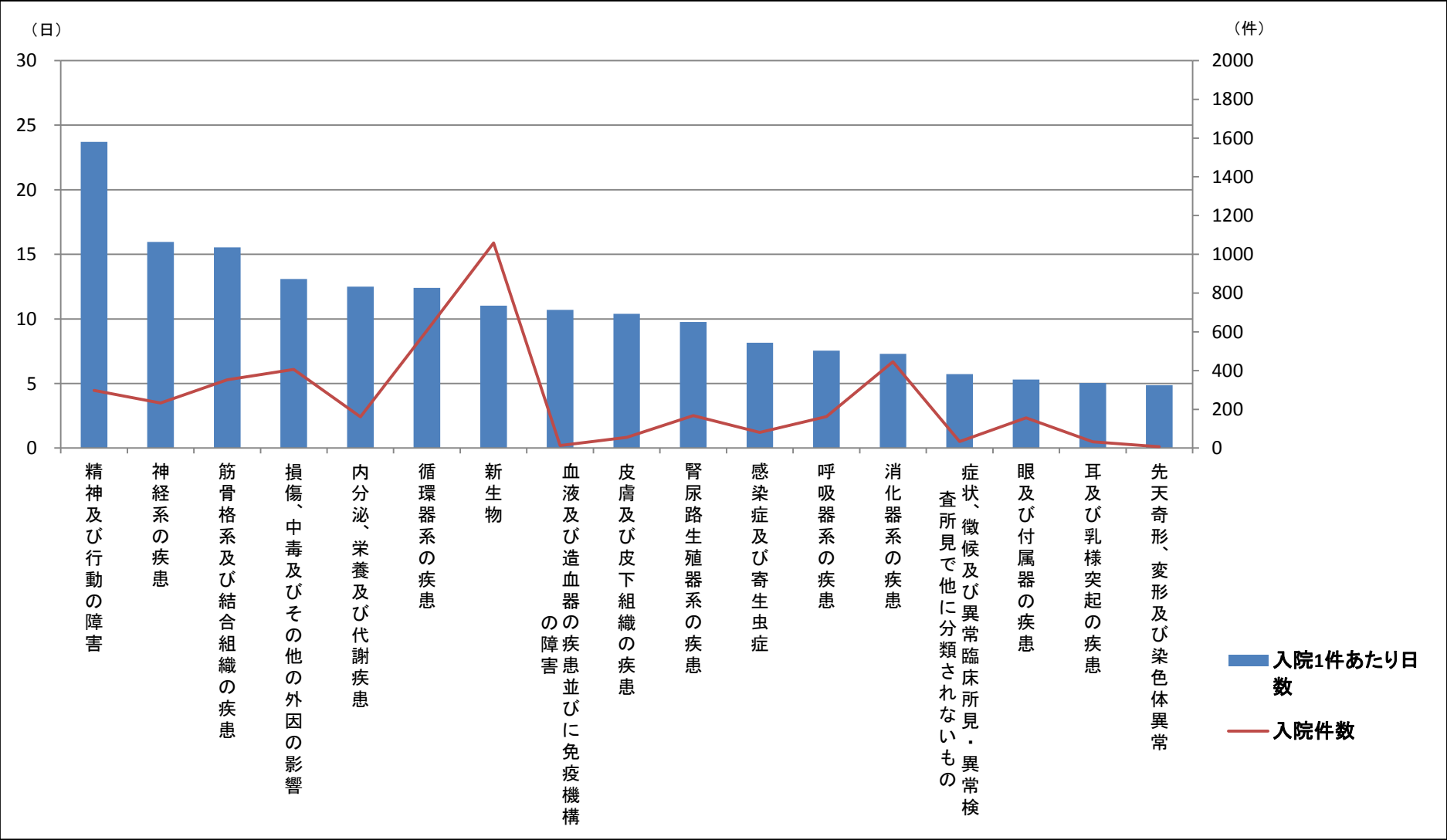
(4) 30～39歳の疾病分類別入院1件あたり日数および入院件数



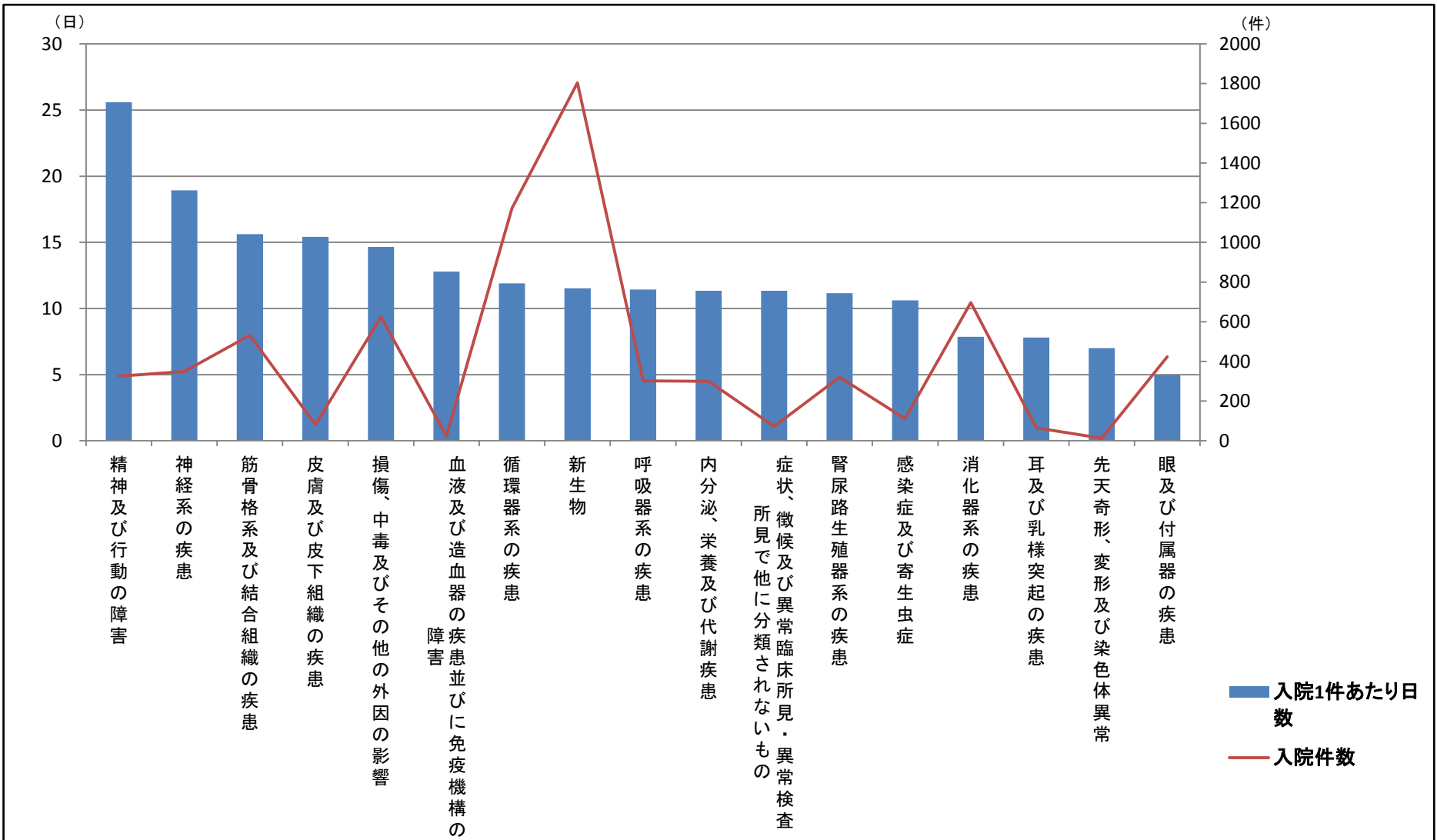
(5) 40～49歳の疾病分類別入院1件あたり日数および入院件数



(6) 50～59歳の疾病分類別入院1件あたり日数および入院件数

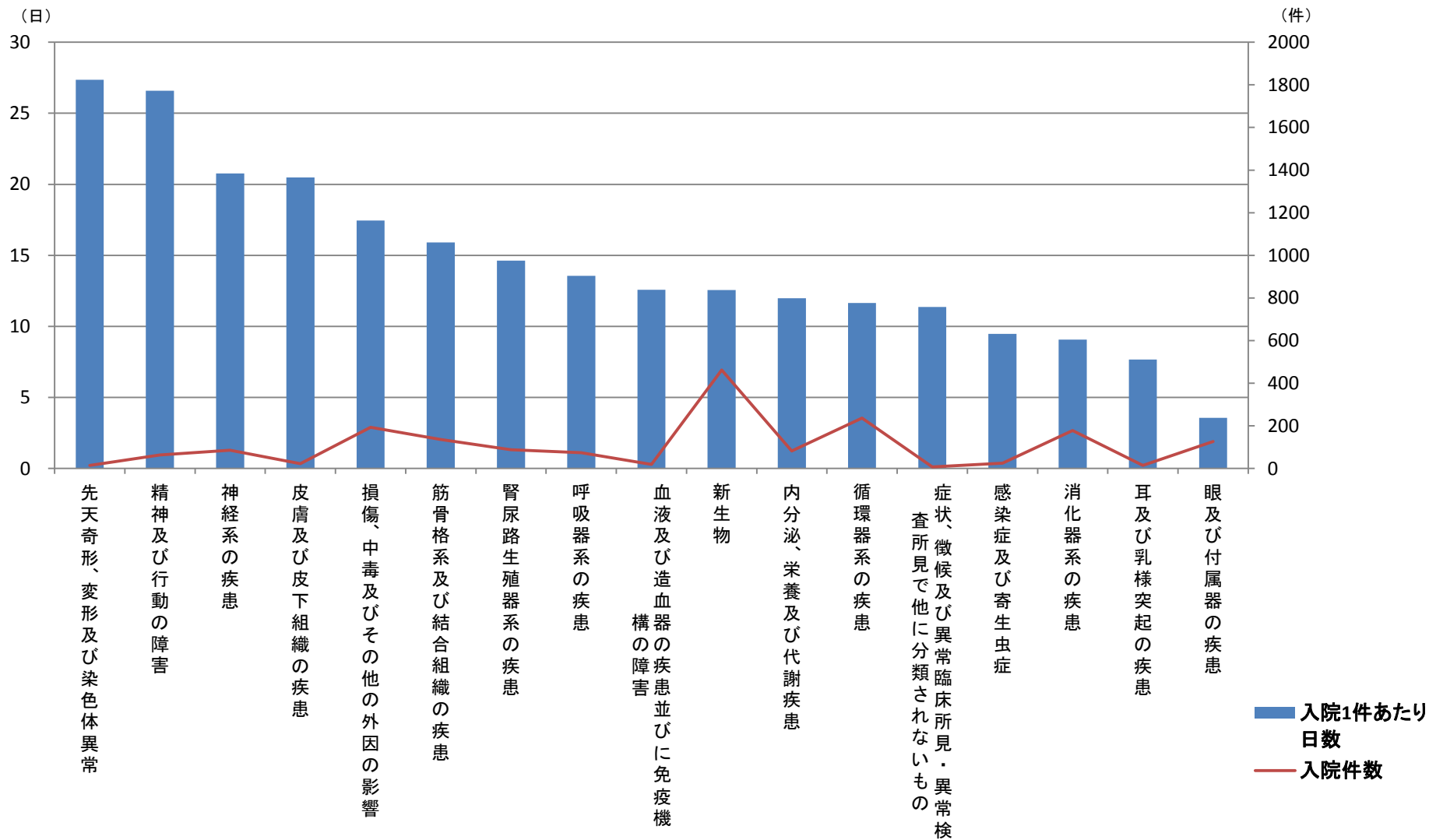


(7) 60～69歳の疾病分類別入院1件あたり日数および入院件数



★医療費が高い世代である50～59歳、60歳～69歳では「循環器系」「新生物」が入院日数および件数が多く、入院医療費を引き上げている。  
 また、「精神及び行動の障害」は全年代である程度の入院件数があり、重症化すると1回の入院が非常に長期にわたる傾向があるため、健康経営の推進およびメンタルヘルスの対策に力を入れていく必要があると考えられる。

(8) 70歳～74歳の疾病分類別入院1件あたり日数および入院件数



### Ⅲ. 医療供給体制をベースとした分析

医療費が全国で28番目に高い鳥取県を参考に掲載。(鳥根県は9番目に高い)

#### 医療機関数・病床数・平均在院日数(都道府県単位)に係る分析

人口10万人対病院数 (軒/10万人)		
順位	全国	6.7
1	高知県	18.0
2	鹿児島県	15.4
3	徳島県	14.9
4	大分県	13.5
5	佐賀県	12.9
6	宮崎県	12.8
7	熊本県	12.0
8	長崎県	11.0
9	北海道	10.5
10	山口県	10.5

人口10万人対病院病床数 (床/10万人)		
順位	全国	1,229.8
1	高知県	2,530.4
2	鹿児島県	2,083.6
3	徳島県	1,978.4
4	熊本県	1,957.6
5	長崎県	1,941.3
6	山口県	1,925.5
7	佐賀県	1,810.4
8	北海道	1,781.7
9	宮崎県	1,750.8
10	大分県	1,723.4

人口10万人対一般診療所数 (軒/10万人)		
順位	全国	80.0
1	和歌山県	110.7
2	鳥根県	105.1
3	長崎県	101.6
4	徳島県	99.5
5	東京都	96.8
6	大阪府	95.0
7	京都府	94.9
8	山口県	92.0
9	兵庫県	91.2
10	福岡県	91.2

人口10万人対一般診療所病 床数(床/10万人)		
順位	全国	81.5
1	鹿児島県	338.7
2	大分県	334.3
3	佐賀県	291.5
4	熊本県	289.3
5	長崎県	283.5
6	徳島県	269.7
7	宮崎県	242.4
8	愛媛県	214.6
9	高知県	184.3
10	香川県	177.7

平均在院日数(日)		
順位	全国	29.9
1	高知県	46.4
2	佐賀県	42.1
3	鹿児島県	42.0
4	山口県	41.8
5	熊本県	40.8
6	徳島県	38.6
7	宮崎県	36.8
8	長崎県	36.6
9	福岡県	34.8
10	富山県	33.4

人口10万人対医師数 (人/10万人)		
順位	全国	251.7
1	京都府	334.9
2	徳島県	333.3
3	東京都	324.0
4	鳥取県	316.7
5	高知県	315.7
6	福岡県	313.4
7	岡山県	312.0
8	長崎県	308.6
9	和歌山県	300.6
10	石川県	295.8

20	鳥取県	7.7
22	鳥根県	7.4

15	鳥根県	1,543.8
17	鳥取県	1,518.6

14	鳥取県	88.2
----	-----	------

21	鳥取県	87.9
28	鳥根県	72.6

24	鳥取県	29.4
26	鳥根県	29.3

14	鳥根県	286.2
----	-----	-------

41	静岡県	4.9
42	東京都	4.8
43	埼玉県	4.7
44	千葉県	4.6
45	愛知県	4.3
46	滋賀県	4.0
47	神奈川県	3.7

41	岐阜県	1,026.7
42	滋賀県	1,025.6
43	千葉県	944.5
44	東京都	942.1
45	愛知県	903.4
46	埼玉県	852.1
47	神奈川県	808.9

41	愛知県	70.6
42	青森県	68.4
43	北海道	63.2
44	沖縄県	62.3
45	千葉県	60.6
46	茨城県	59.0
47	埼玉県	58.0

41	滋賀県	38.0
42	奈良県	37.3
43	京都府	30.7
44	東京都	29.9
45	神奈川県	28.7
46	大阪府	28.6
47	新潟県	28.1

41	滋賀県	25.5
42	宮城県	25.1
43	岐阜県	24.6
44	愛知県	24.0
45	長野県	23.9
46	東京都	22.3
47	神奈川県	22.3

41	静岡県	207.8
42	岩手県	207.5
43	新潟県	205.5
44	福島県	204.5
45	千葉県	196.9
46	茨城県	189.8
47	埼玉県	167.0

※データ:平成28年度 厚生労働省 医療施設調査

★鳥根支部は人口あたりの病院数は全国平均に近いが、一般診療所数が全国平均を大きく上回っている。

## IV. 健診データをベースとした分析

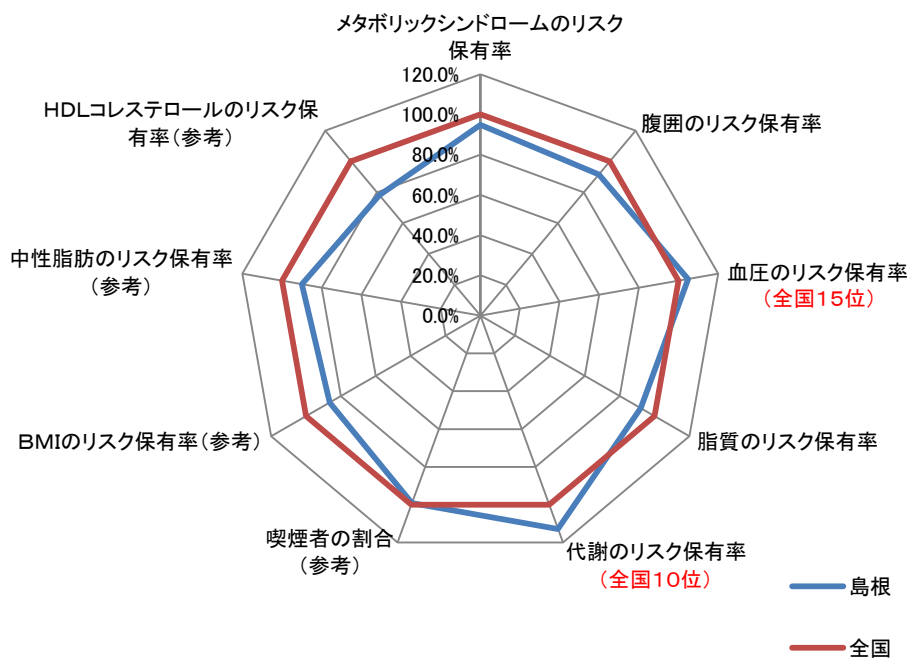
### 1. 統計上のリスク保有率の算出方法【参考】

集計対象データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集計対象年度末に35歳以上75歳以下に達し、1年間継続して協会けんぽに加入した被保険者の健診データのうち、特定保健指導レベルが判定不能でないもの(35～39歳の特定保健指導レベルは40歳以上の階層化の方法に準じて判定)</li> </ul>
(1)メタボリックシンドロームのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(2)かつ(3)～(5)のうち2項目以上に該当</li> <li>・分母は集計対象データ総数</li> </ul>
(2)腹囲のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内臓脂肪面積が100cm<sup>2</sup>以上</li> <li>・内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上</li> <li>・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数</li> </ul>
(3)血圧のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり</li> <li>・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数</li> </ul>
(4)脂質のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり</li> <li>・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数</li> </ul>
(5)代謝のリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり</li> <li>・空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c 6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり</li> <li>・分母は当該リスクの判定が可能なデータの総数</li> </ul>
(6)喫煙者の割合(参考)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙あり</li> <li>・分母は喫煙に関する回答のあるデータの総数</li> </ul>
(7)BMIのリスク保有率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BMI25以上</li> <li>・分母はBMIの値のあるデータの総数</li> </ul>
(8)中性脂肪のリスク保有率(参考)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中性脂肪150mg/dl以上</li> <li>・分母は中性脂肪の検査値のあるデータの総数</li> </ul>
(9)HDLコレステロールのリスク保有率(参考)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HDLコレステロール40mg/dl未満</li> <li>・分母はHDLコレステロールの検査値のあるデータの総数</li> </ul>

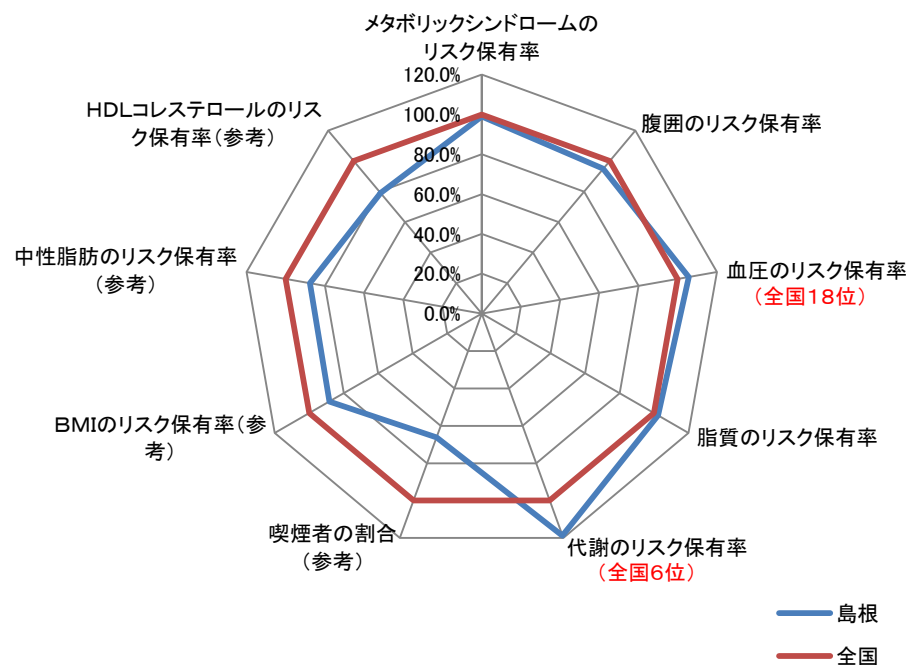


## 2. 健診データに関するレーダーチャート【平成28年度】

男性



女性

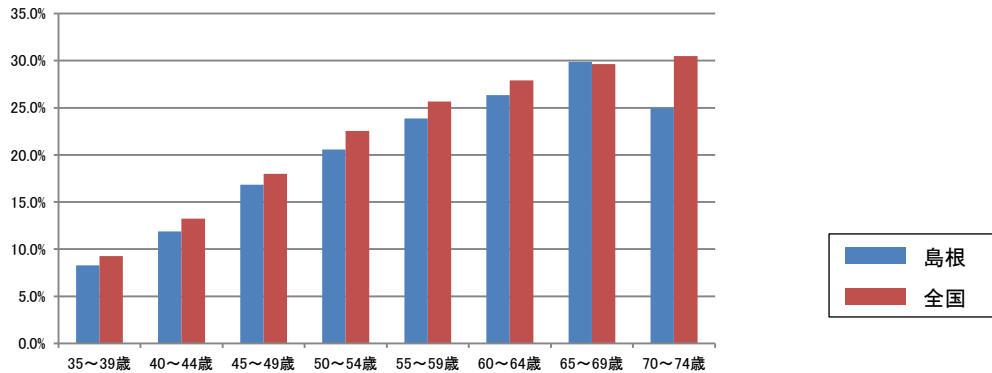


★島根支部は代謝リスク保有率、血圧リスク保有率が男女ともに全国より高い。特に女性に代謝リスク保有率は全国より20%近く高くなっている。

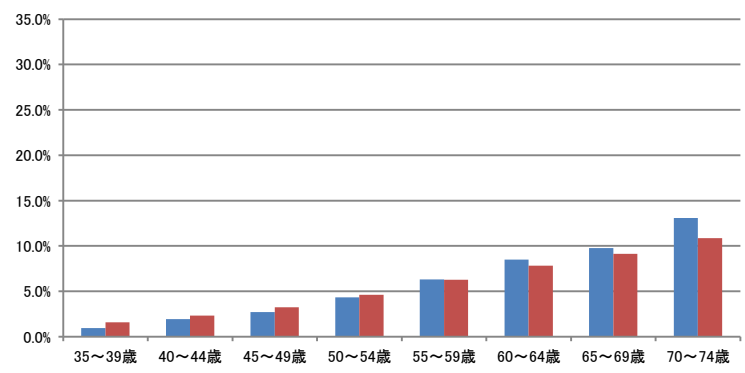
### 3. 性・年齢別におけるリスク保有率の分布【平成28年度】

#### メタリックシンドロームのリスク保有率

男性

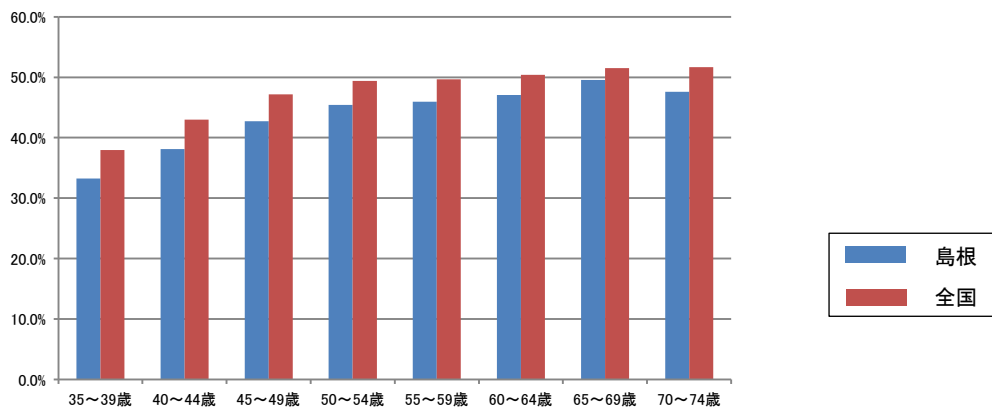


女性

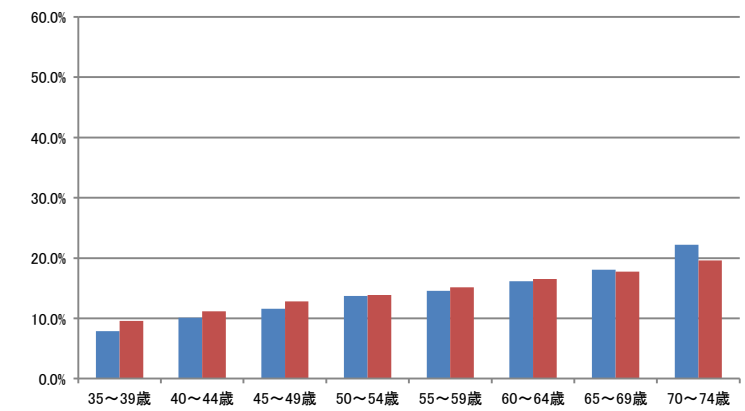


#### 腹囲のリスク保有率

男性

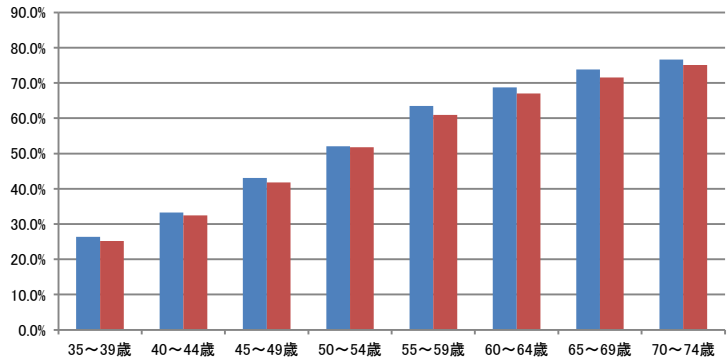


女性

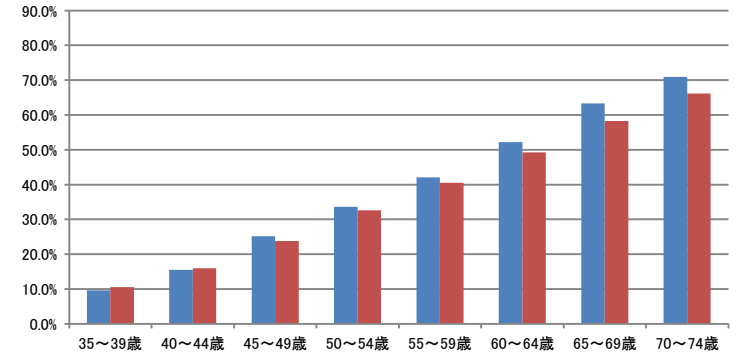


## 血圧のリスク保有率

男性

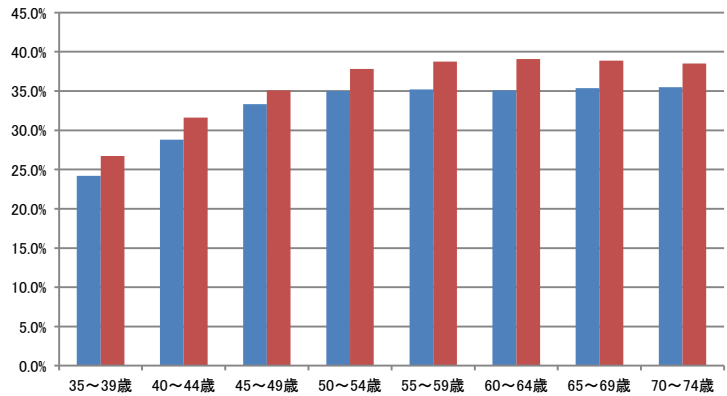


女性

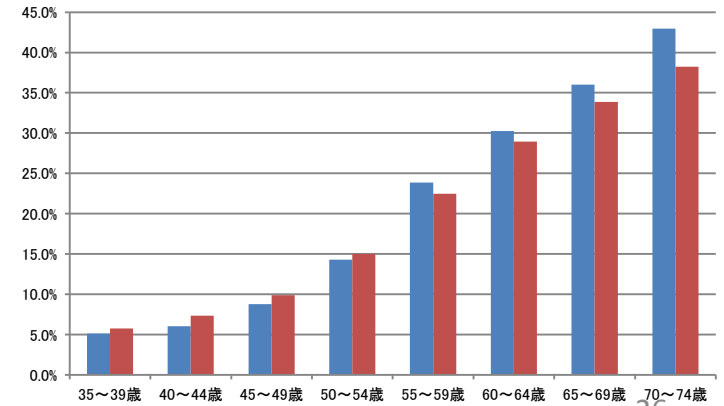


## 脂質のリスク保有率

男性

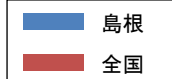
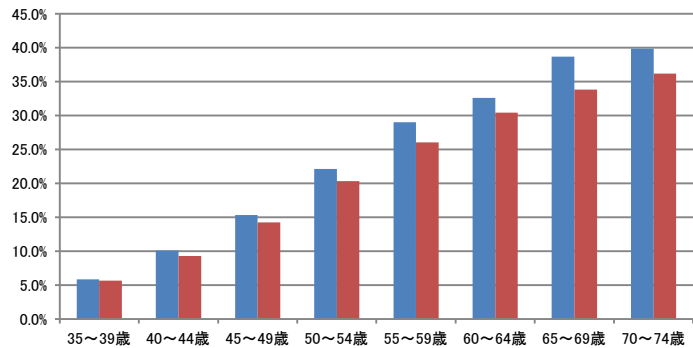


女性

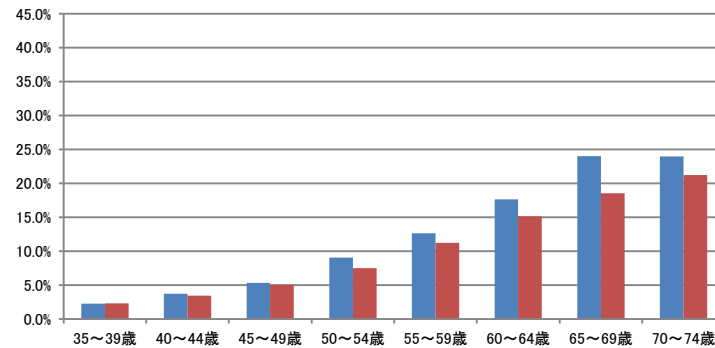


## 代謝(空腹時血糖値)のリスク保有率

男性

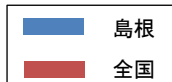
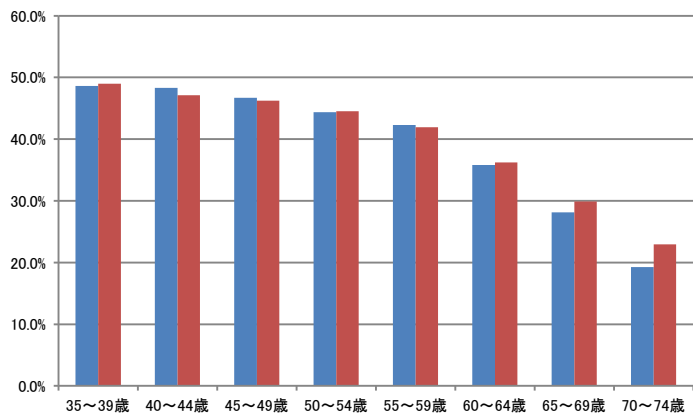


女性

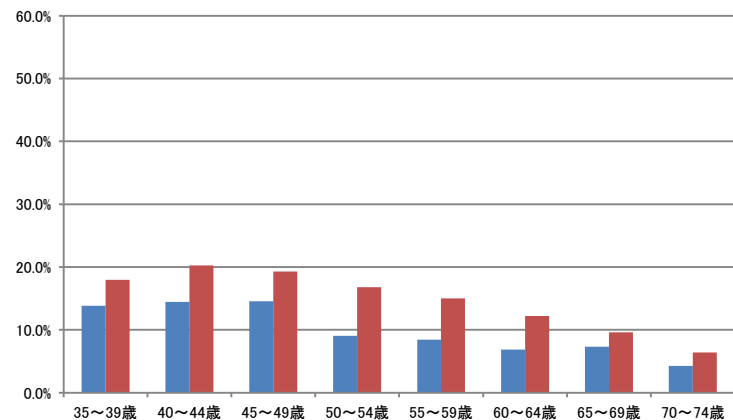


## 喫煙者の割合(参考)

男性

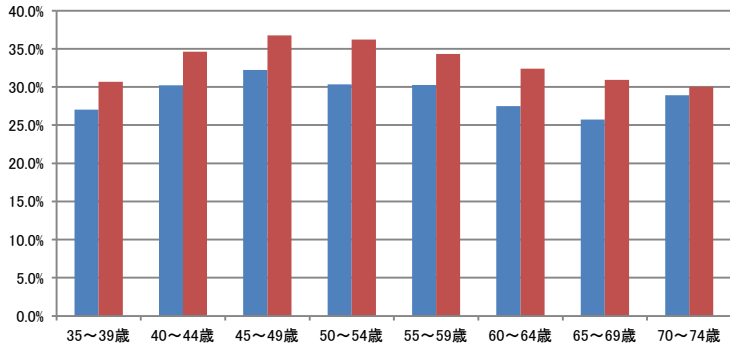


女性

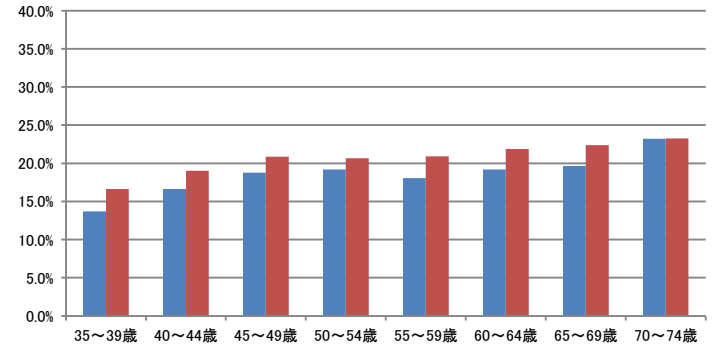


## BMIのリスク保有率(参考)

### 男性

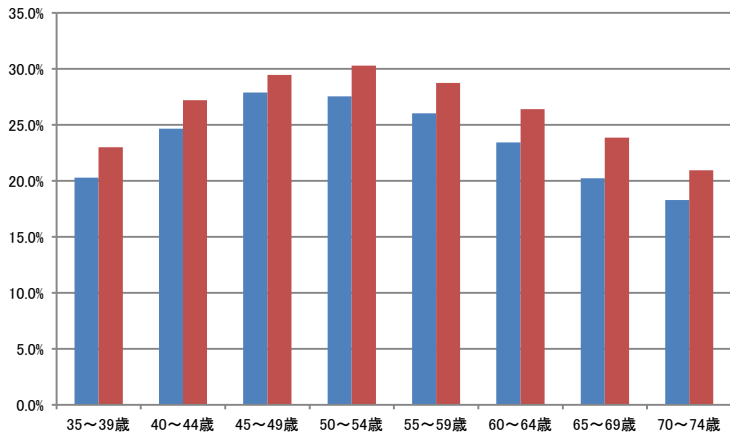


### 女性

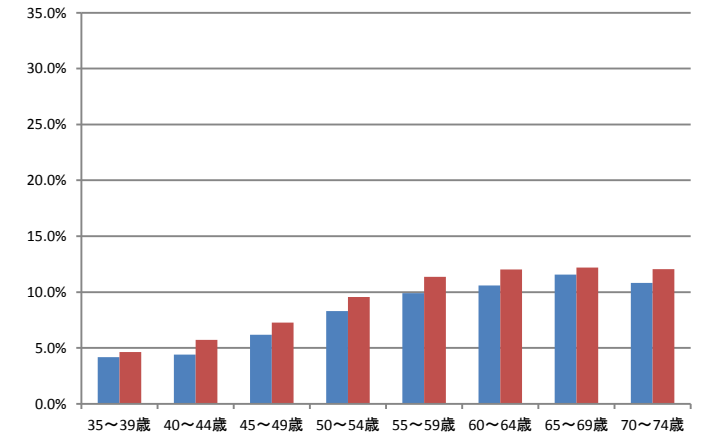


## 脂質(中性脂肪)のリスク保有率(参考)

### 男性

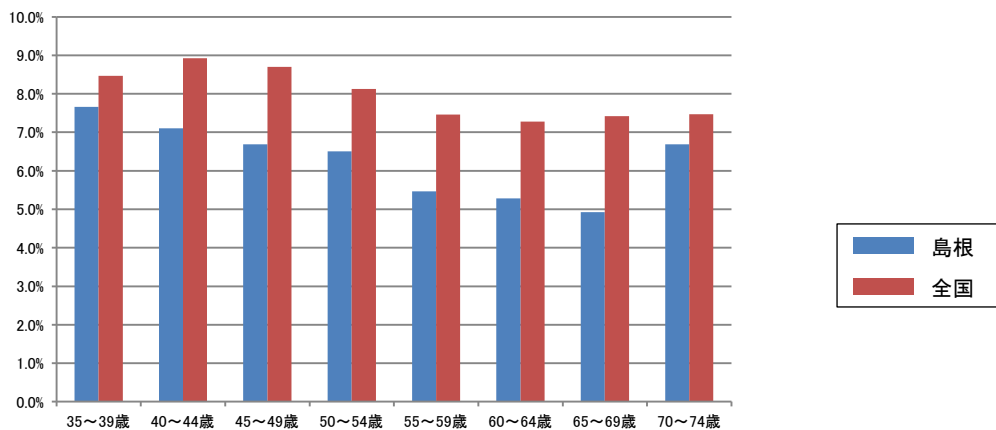


### 女性

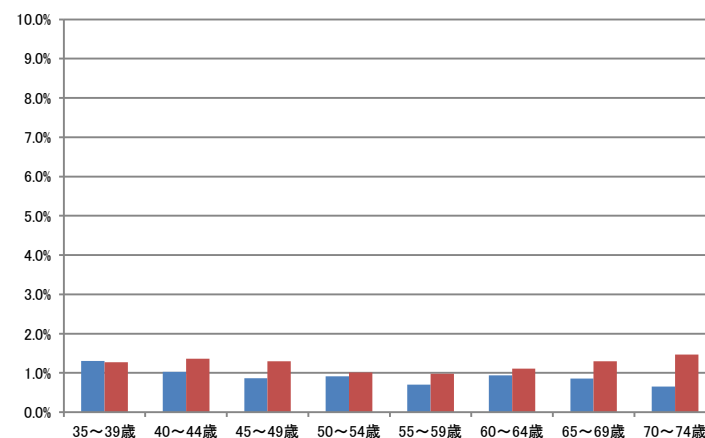


## 脂質(HDLコレステロール)のリスク保有率(参考)

### 男性



### 女性

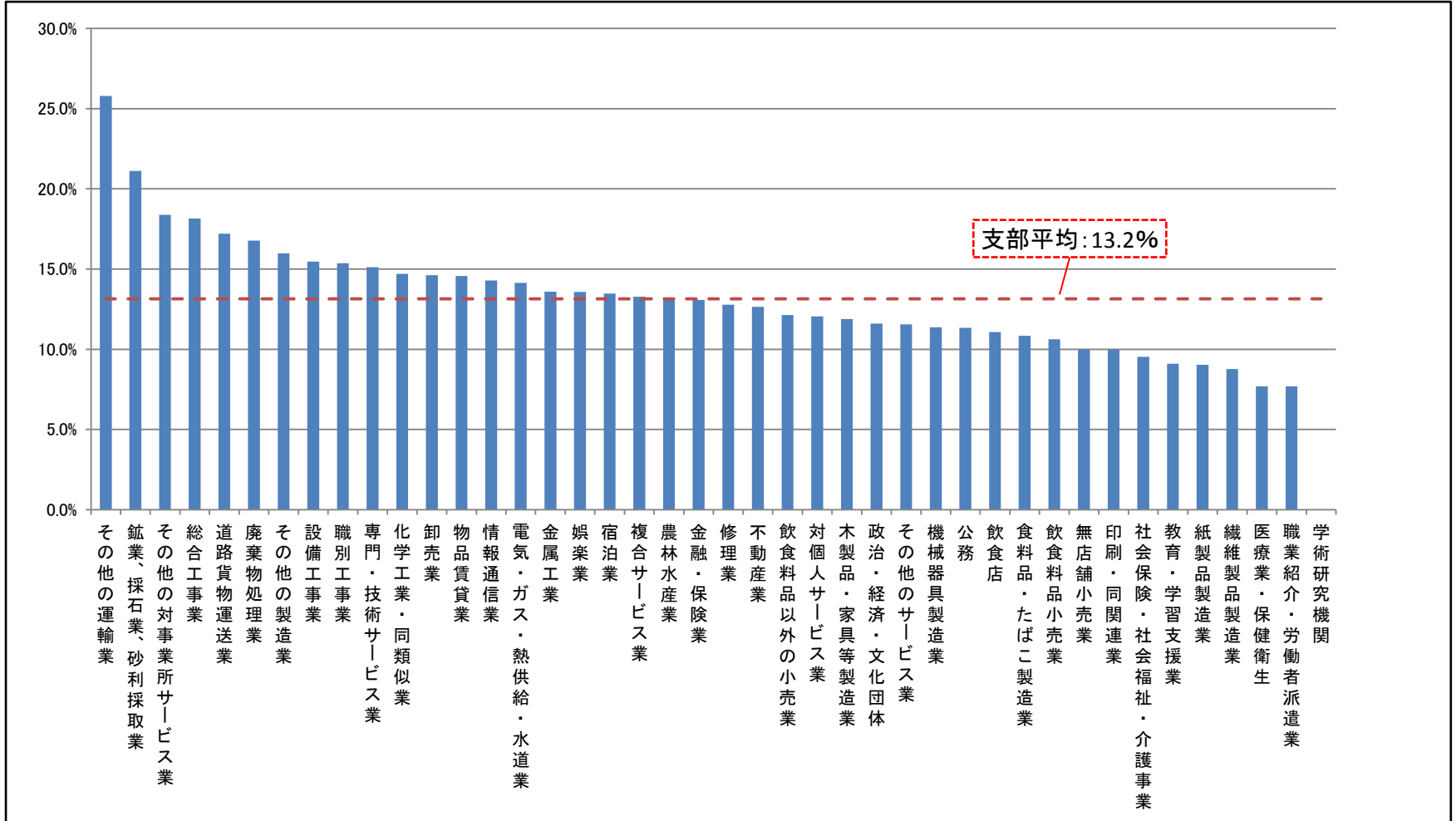


★島根支部は代謝リスク保有率、血圧リスク保有率以外は全年齢層で全国より低めの傾向にある。  
上記2点の高リスクは車社会からくる慢性的な運動不足が要因と考えられる。

## V. 業態別の分析

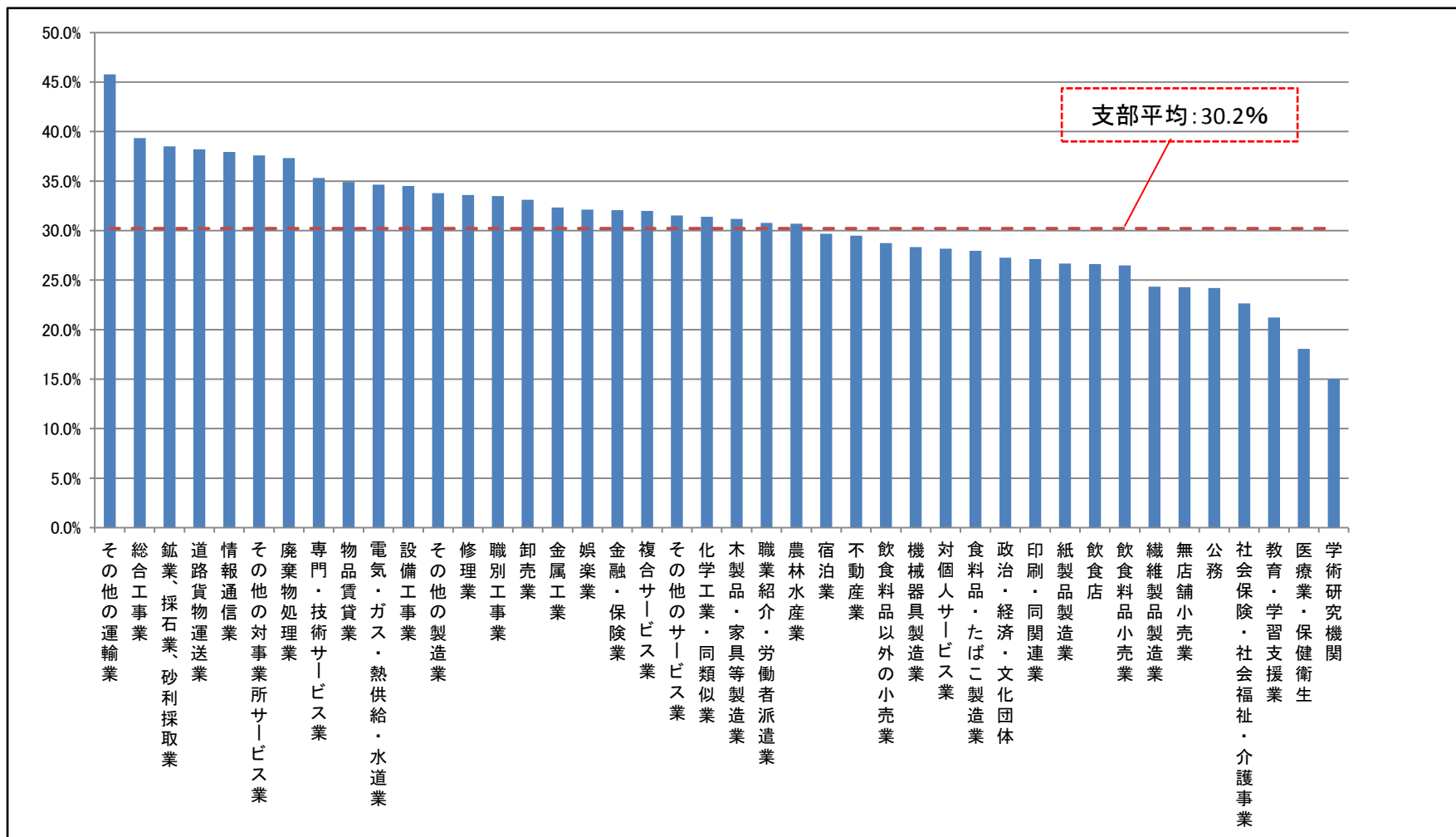
### 1. 業態分類別リスク保有率(平成28年度)

#### (1)メタボリックシンドロームのリスク保有率



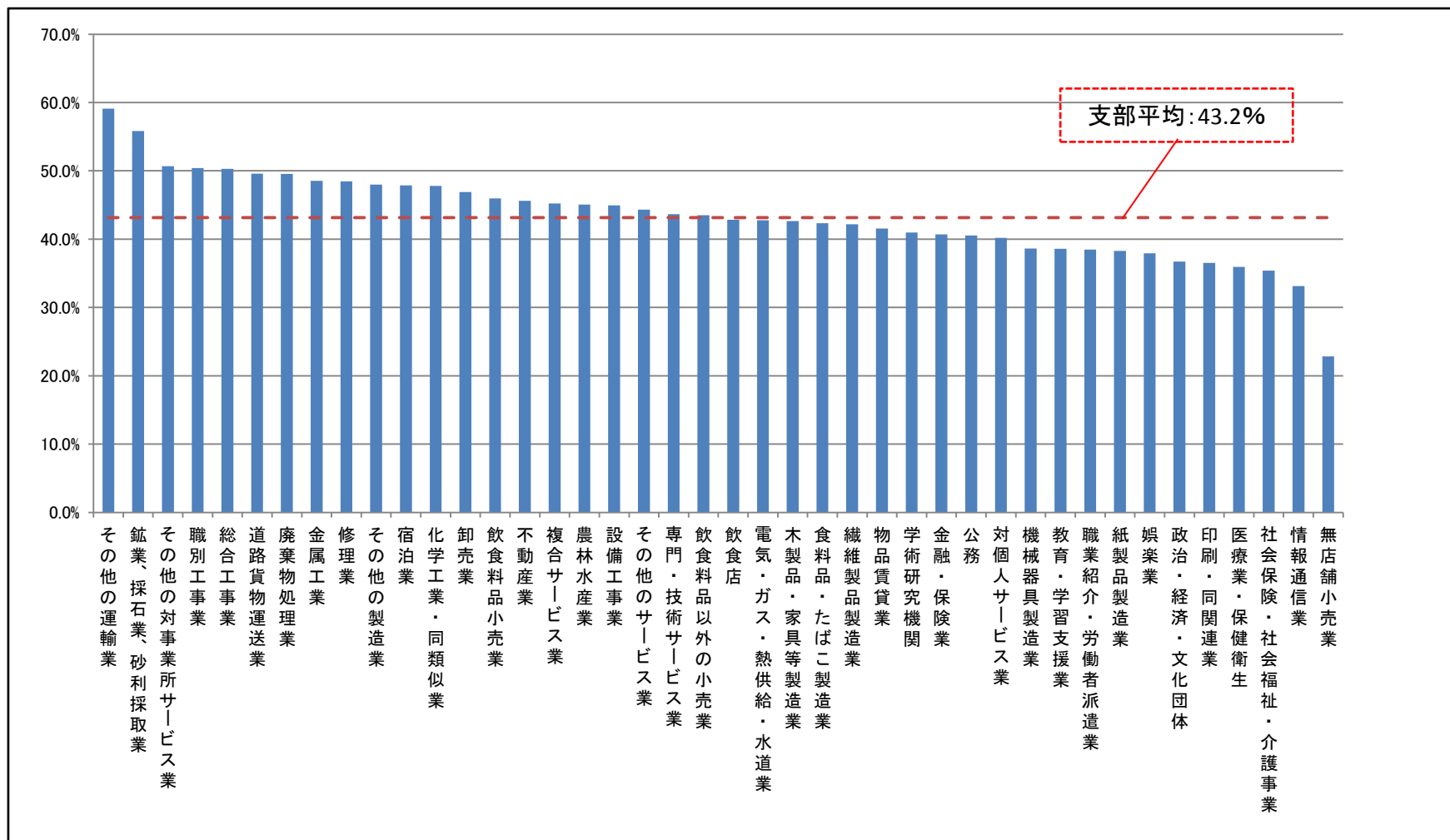
業態分類は「健康保険及び厚生年金の業態分類標準」による

## (2) 腹囲のリスク保有率

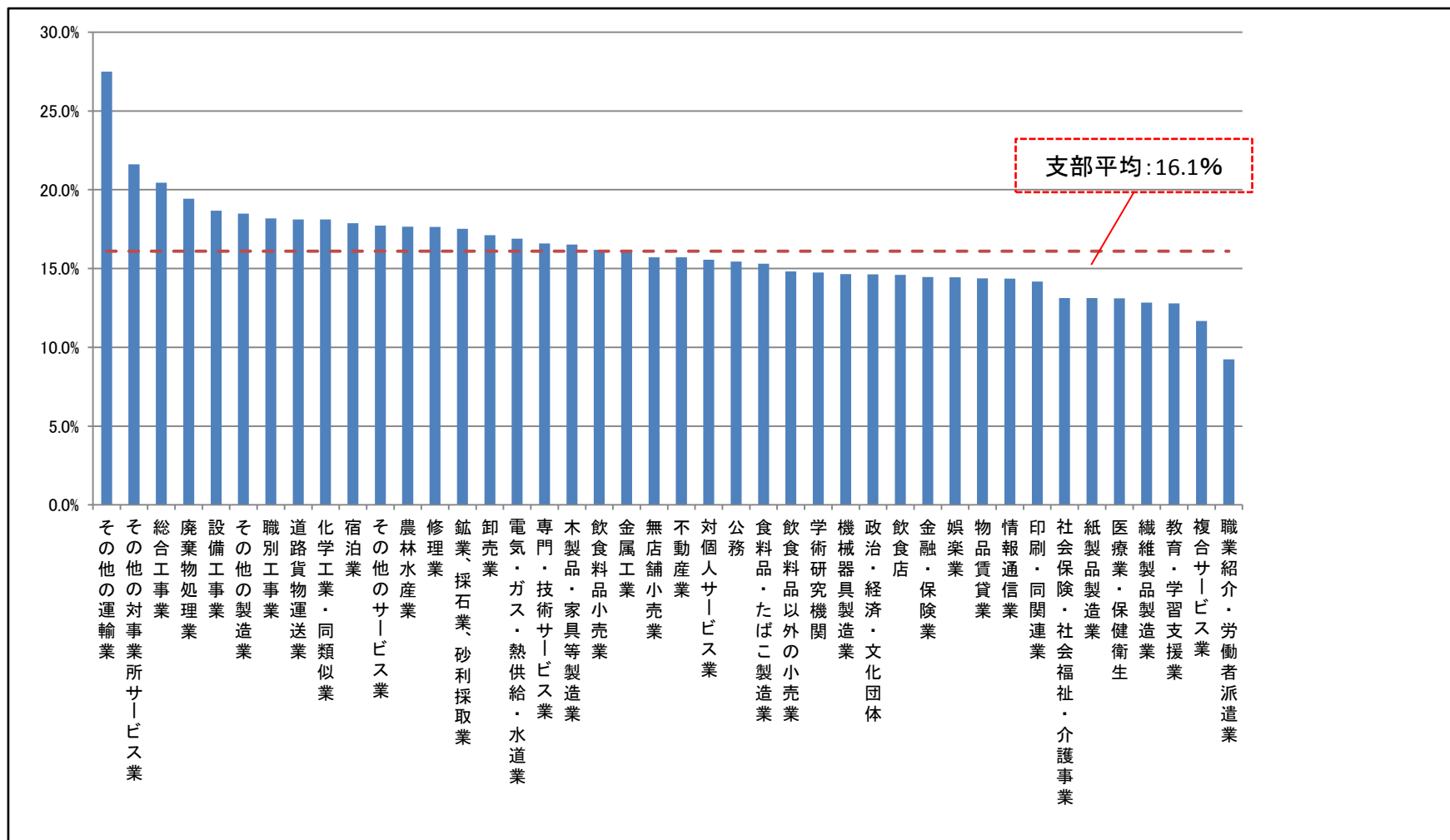




### (3) 血圧のリスク保有率

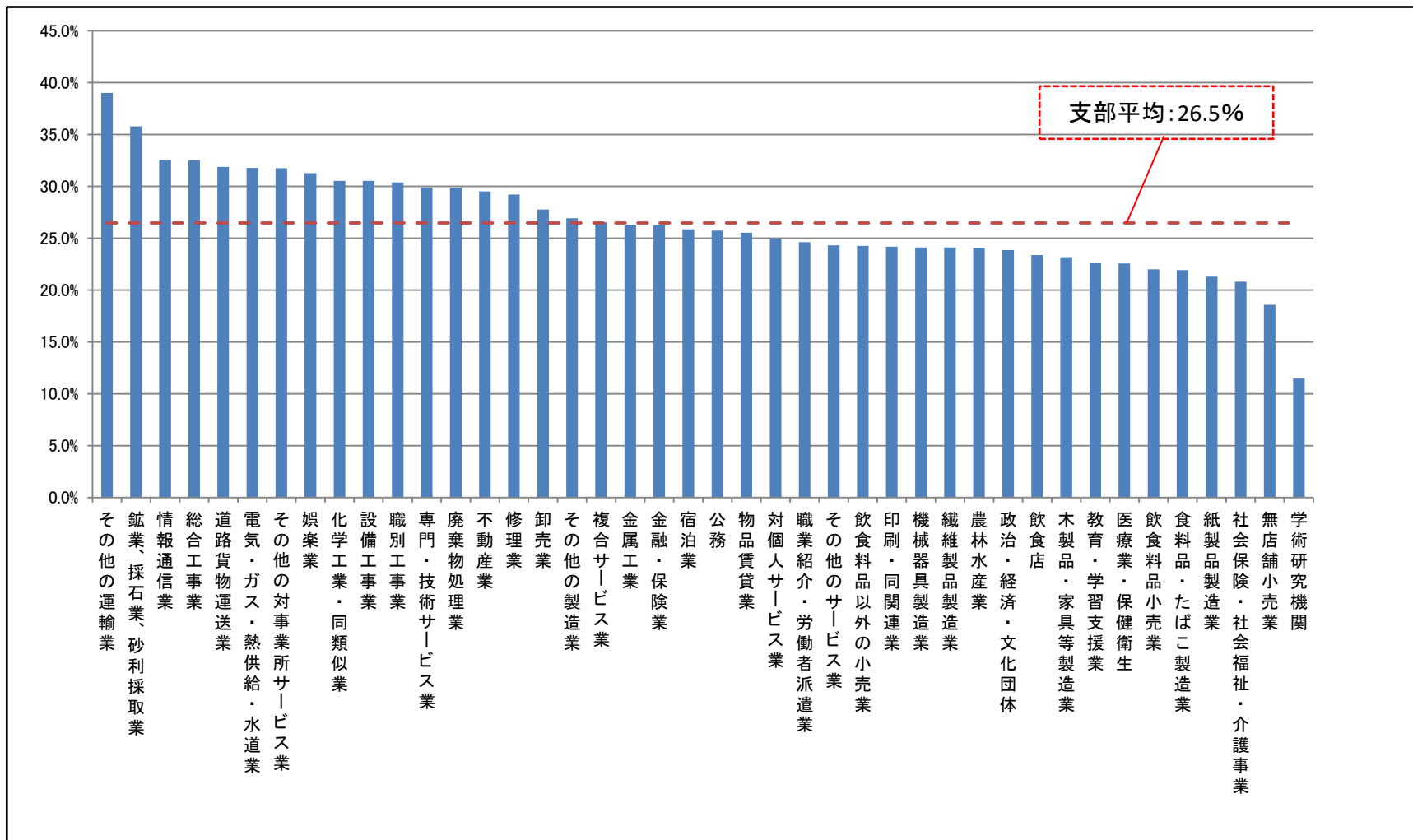


(4)代謝のリスク保有率

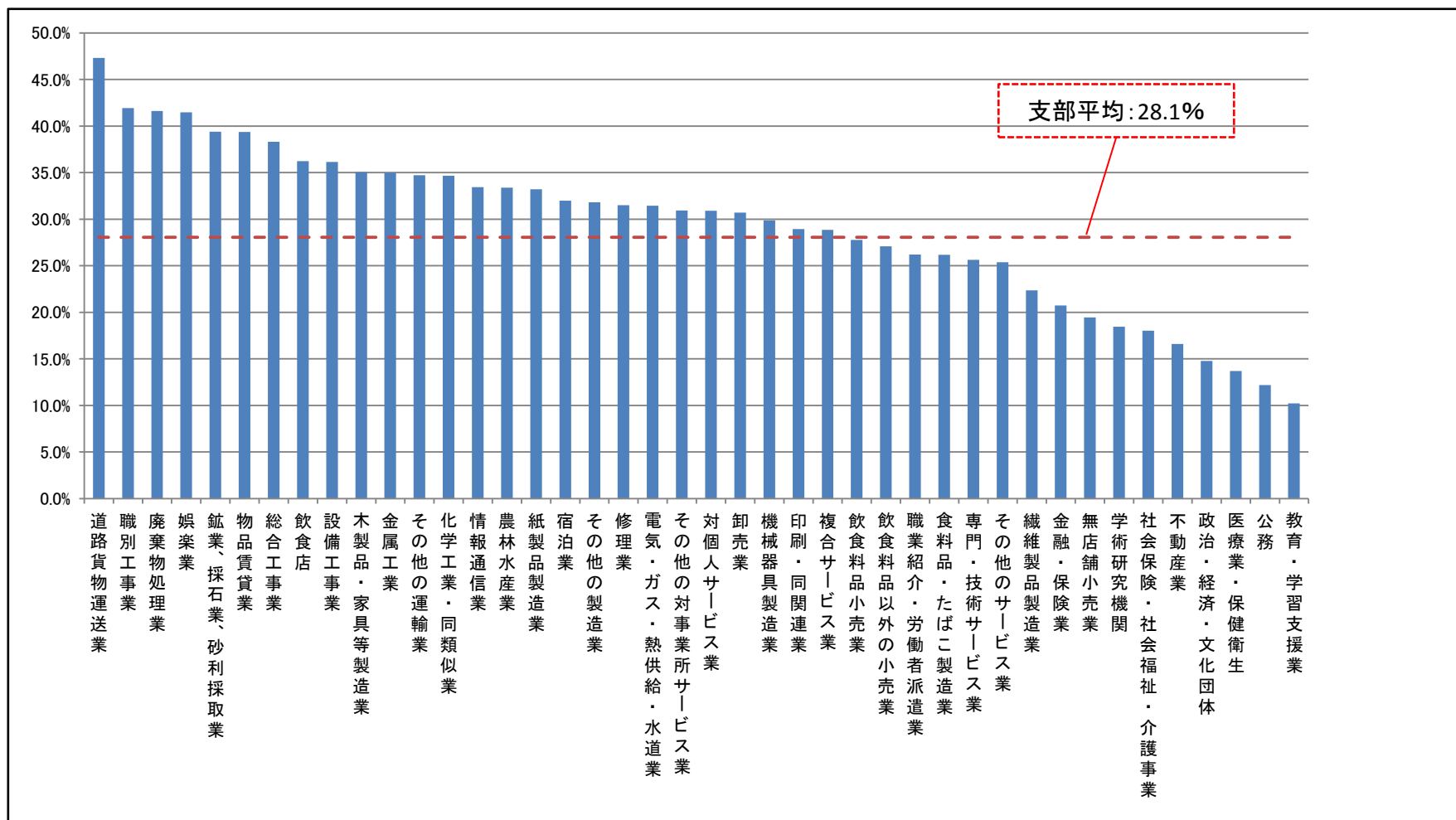


★メタボリックシンドロームにかかるリスク保有率は、全ての項目で「その他の運輸業」が最も高くなっている。  
バス・タクシー運転手など、不規則な生活になってしまいがちな職種が影響していると考える。

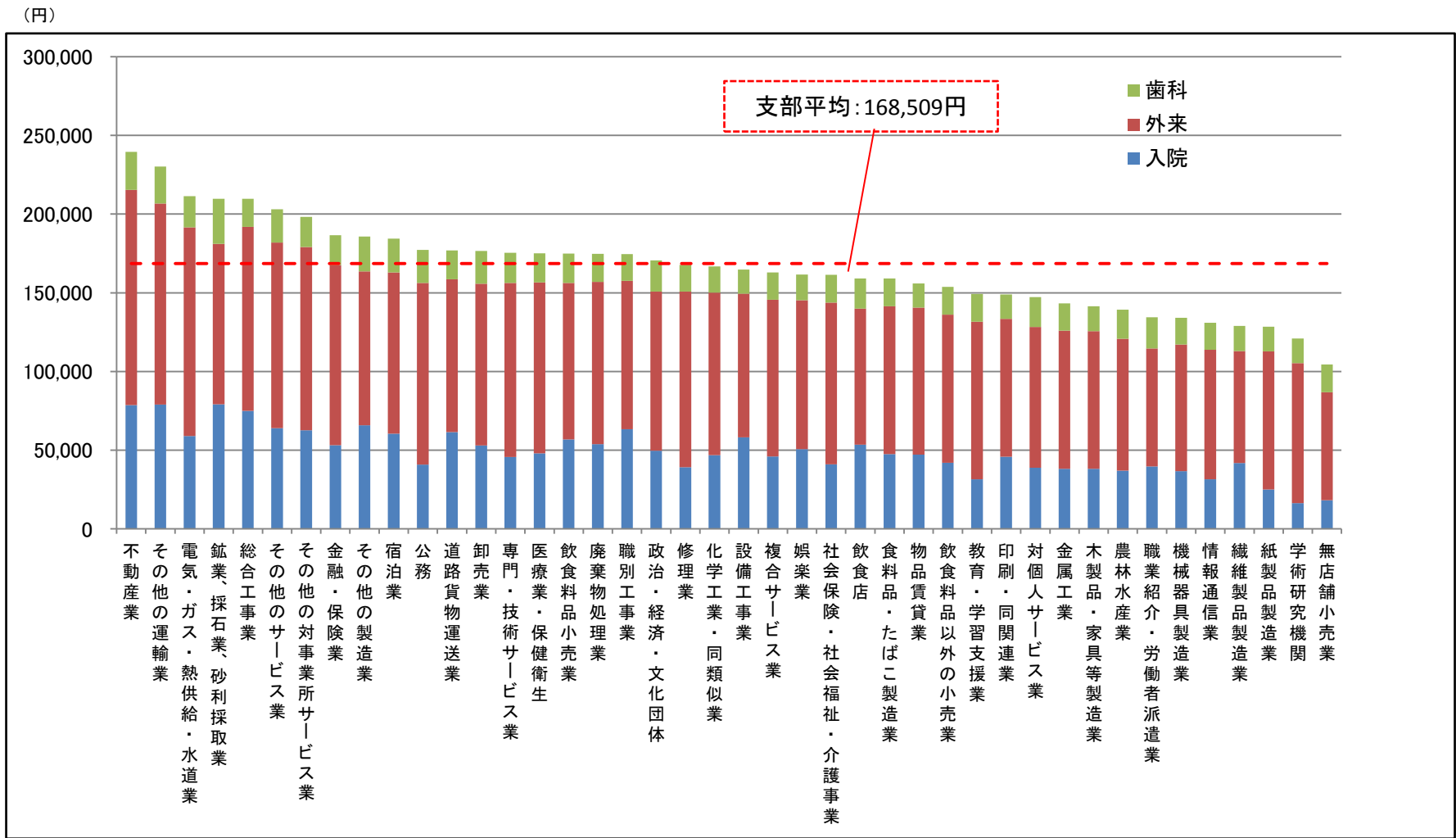
(5) 脂質のリスク保有率



(6) 喫煙率



## 2. 業態分類別1人当たり医療費(平成28年度)



★メタボリックシンドロームのリスク保有率は、「不動産業」→23位、「その他の運輸業」→1位、「電気・ガス・・・」→15位、「鉱業・採石・・・」→2位、「総合工事業」→4位、「その他のサービス業」→28位、「その他の対事業所・・・」→3位、「金融・保険業」→21位、「その他の製造業」→7位、「宿泊業」→18位・・・となっており、差異はあるものの比較的強い相関関係があると考えられる。

医療費が多い(下位5位)

医療費が少ない(上位5位)

【平成28年度 業態別被保険者1人当たり医療費】

	業態名称	事業所数		被保険者数		入院		外来		歯科		合計	
		事業所数	構成割合	被保険者数	構成割合	入院	順位	外来	順位	歯科	順位	合計	順位
1	不動産業	334	3.1%	777	0.5%	78,713	40	136,724	42	24,119	41	239,556	42
2	その他の運輸業	124	1.1%	2,402	1.6%	78,938	41	127,853	40	23,476	40	230,266	41
3	電気・ガス・熱供給・水道業	75	0.7%	767	0.5%	59,060	32	132,489	41	19,863	34	211,412	40
4	鉱業、採石業、砂利採取業	47	0.4%	435	0.3%	79,177	42	101,841	26	28,774	42	209,792	39
5	総合工事業	908	8.4%	11,345	7.6%	75,013	39	116,838	38	17,829	21	209,680	38
6	その他のサービス業	269	2.5%	1,930	1.3%	63,936	37	117,919	39	21,137	37	202,992	37
7	その他の対事業所サービス業	139	1.3%	4,083	2.7%	62,733	35	116,391	37	19,171	29	198,294	36
8	金融・保険業	113	1.0%	1,010	0.7%	53,126	27	114,519	35	18,869	27	186,514	35
9	その他の製造業	136	1.3%	1,670	1.1%	65,860	38	97,683	21	22,210	39	185,752	34
10	宿泊業	152	1.4%	2,006	1.3%	60,571	33	102,382	27	21,496	38	184,449	33
11	公務	109	1.0%	6,392	4.3%	40,865	13	115,478	36	20,846	36	177,189	32
12	道路貨物運送業	242	2.2%	4,816	3.2%	61,533	34	97,119	20	18,204	23	176,856	31
13	卸売業	549	5.1%	5,097	3.4%	52,941	26	102,815	29	20,834	35	176,590	30
14	専門・技術サービス業	498	4.6%	3,262	2.2%	45,748	17	110,481	33	19,221	31	175,450	29
15	医療業・保健衛生	412	3.8%	9,727	6.5%	47,960	23	108,677	32	18,373	24	175,011	28
16	飲食料品小売業	335	3.1%	2,535	1.7%	56,815	30	99,480	22	18,561	26	174,856	27
17	廃棄物処理業	112	1.0%	1,629	1.1%	53,905	29	103,010	30	17,863	22	174,778	26
18	職別工事業	612	5.6%	4,607	3.1%	63,372	36	94,229	18	17,009	11	174,610	25
19	政治・経済・文化団体	382	3.5%	2,113	1.4%	49,704	24	101,111	25	19,725	32	170,540	24
20	修理業	300	2.8%	1,815	1.2%	39,135	11	111,568	34	17,078	12	167,781	23

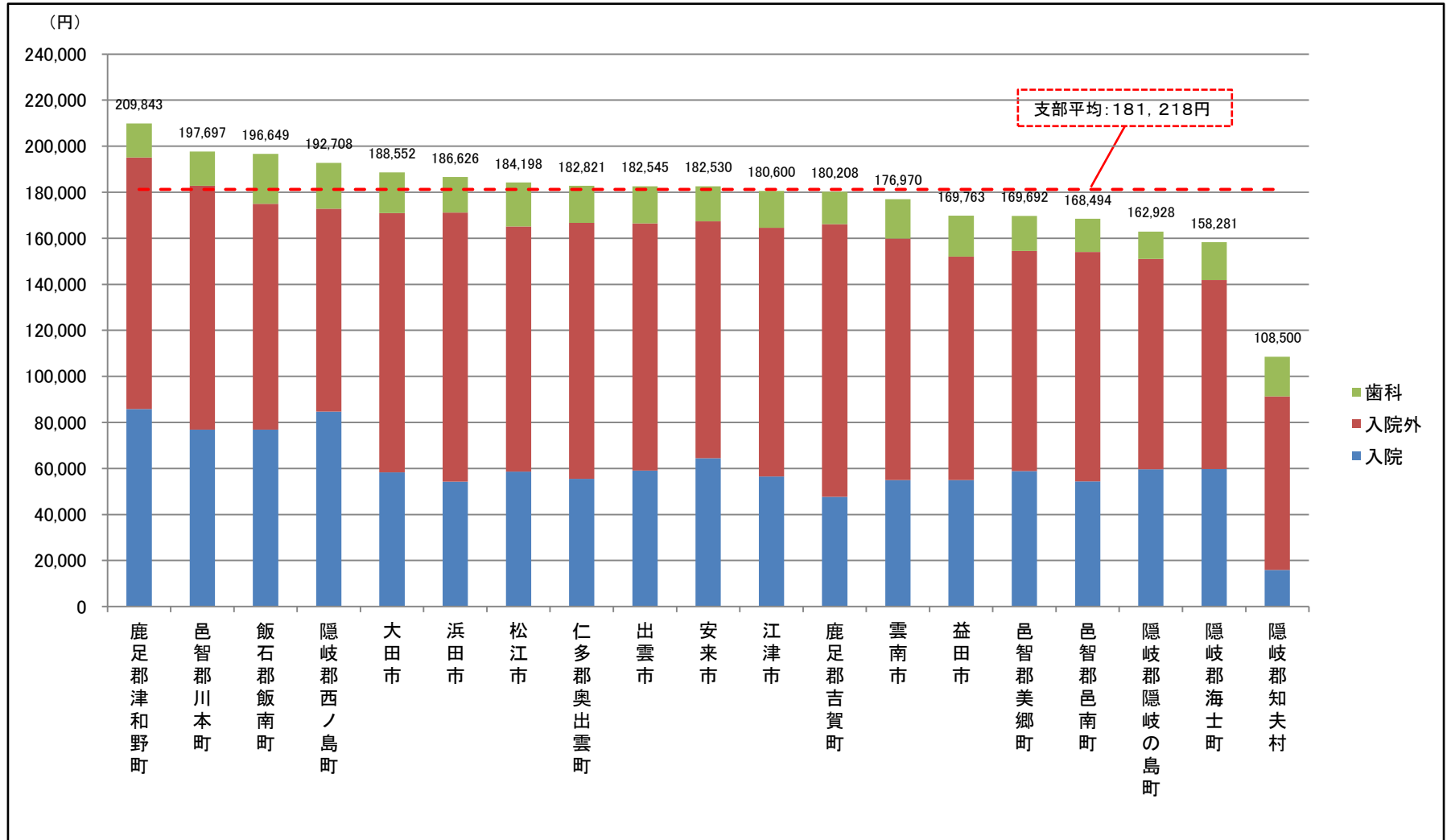
	業態名称	事業所数		被保険者数		入院		外来		歯科		合計	
			構成割合		構成割合		順位		順位		順位		順位
21	化学工業・同類似業	88	0.8%	1,714	1.2%	46,858	20	103,238	31	16,721	9	166,817	22
22	設備工事業	449	4.1%	4,774	3.2%	58,178	31	91,337	14	15,269	2	164,784	21
23	複合サービス業	86	0.8%	4,745	3.2%	46,003	19	99,630	23	17,364	15	162,996	20
24	娯楽業	71	0.7%	1,310	0.9%	50,723	25	94,578	19	16,355	8	161,656	19
25	社会保険・社会福祉・介護事業	670	6.2%	21,825	14.7%	41,033	14	102,789	28	17,681	17	161,503	18
26	飲食店	397	3.7%	2,551	1.7%	53,517	28	86,410	7	19,218	30	159,144	17
27	食料品・たばこ製造業	381	3.5%	5,534	3.7%	47,542	22	93,937	16	17,594	16	159,073	16
28	物品賃貸業	53	0.5%	984	0.7%	47,206	21	93,394	15	15,246	1	155,847	15
29	飲食料品以外の小売業	1,160	10.7%	11,101	7.5%	41,961	16	94,086	17	17,696	18	153,743	14
30	教育・学習支援業	143	1.3%	1,891	1.3%	31,566	4	99,982	24	17,736	20	149,284	13
31	印刷・同関連業	79	0.7%	1,004	0.7%	45,781	18	87,660	9	15,419	3	148,859	12
32	对个人サービス業	266	2.4%	2,232	1.5%	38,898	10	89,430	13	18,947	28	147,275	11
33	金属工業	93	0.9%	1,579	1.1%	38,120	9	87,773	10	17,297	14	143,190	10
34	木製品・家具等製造業	144	1.3%	1,821	1.2%	38,102	8	87,463	8	15,825	6	141,390	9
35	農林水産業	310	2.9%	2,564	1.7%	37,077	7	83,787	6	18,436	25	139,300	8
36	職業紹介・労働者派遣業	20	0.2%	191	0.1%	39,756	12	74,799	3	19,844	33	134,399	7
37	機械器具製造業	248	2.3%	8,689	5.8%	36,652	6	80,525	4	16,954	10	134,131	6
38	情報通信業	142	1.3%	2,625	1.8%	31,567	5	82,155	5	17,239	13	130,960	5
39	繊維製品製造業	127	1.2%	2,176	1.5%	41,812	15	71,159	2	15,968	7	128,939	4
40	紙製品製造業	33	0.3%	874	0.6%	24,971	3	87,835	11	15,680	5	128,486	3
41	学術研究機関	21	0.2%	138	0.1%	16,379	1	88,951	12	15,589	4	120,918	2
42	無店舗小売業	35	0.3%	131	0.1%	18,166	2	68,621	1	17,701	19	104,489	1

## VI. 市町村別の分析

### 1.市町村別医療費(平成28年度)

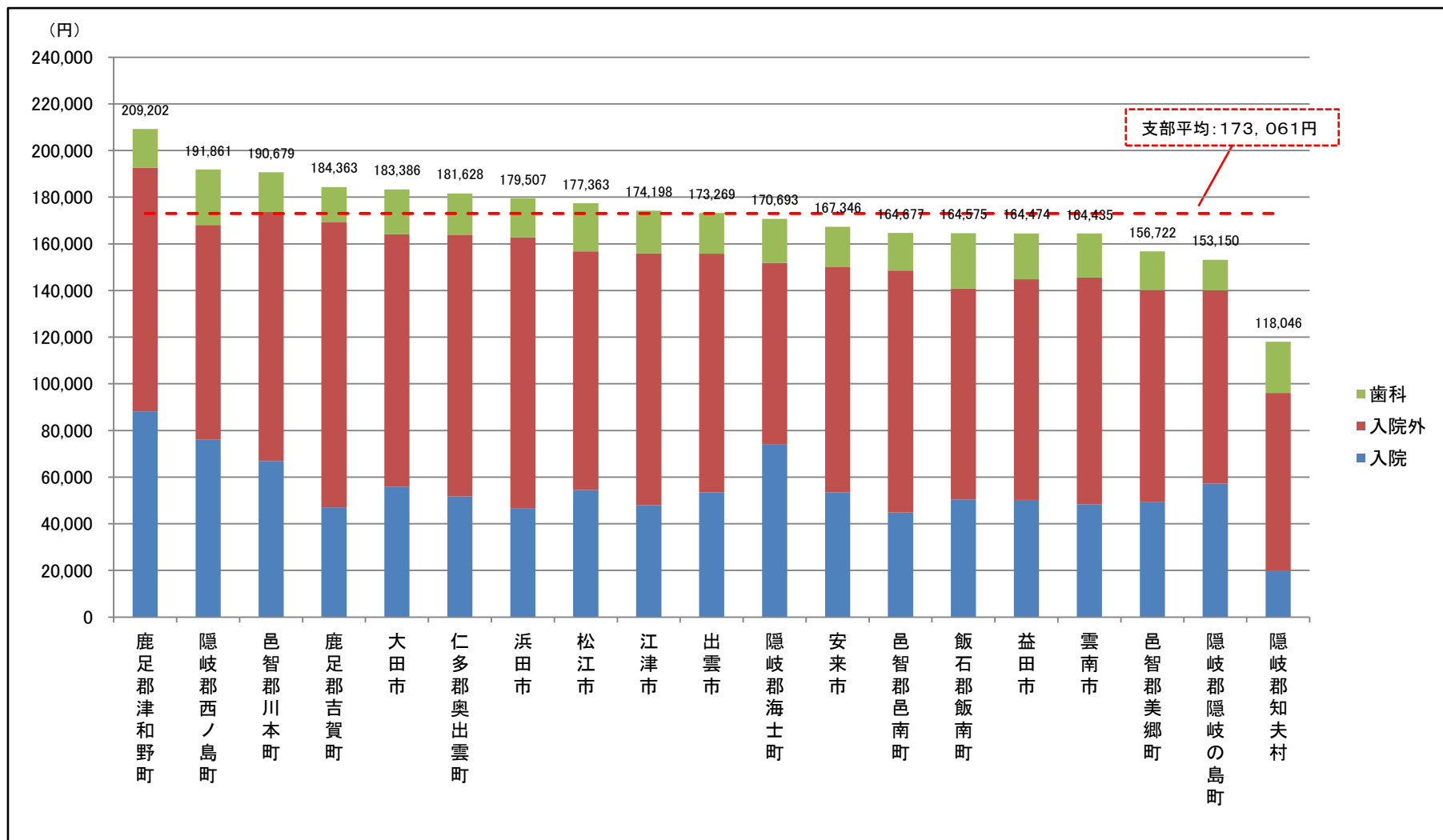
#### (1)加入者1人当たり医療費(年齢調整済み)

※島根県全体の年齢構成をベースに年齢調整

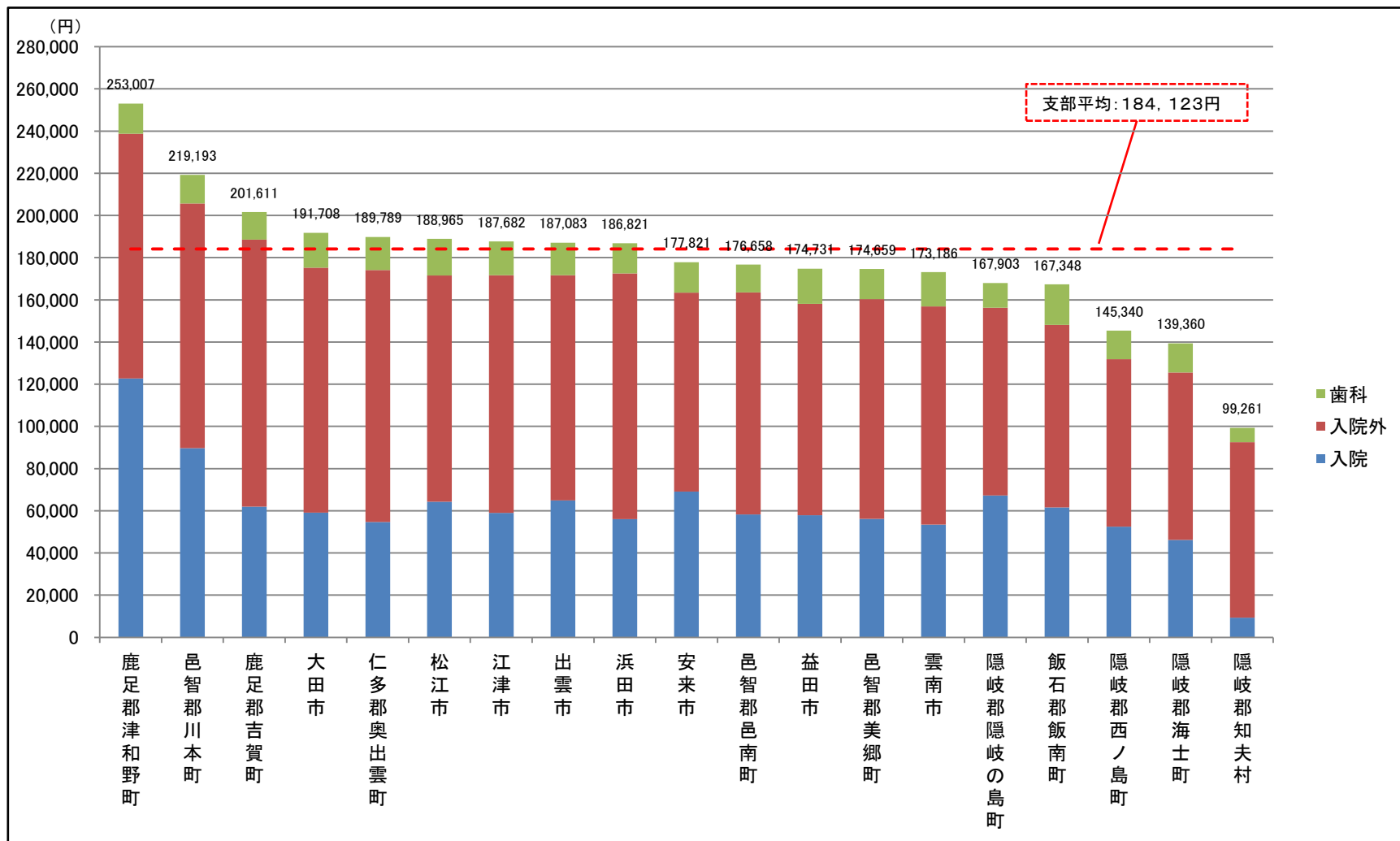




(2)被保険者1人当たり医療費(年齢調整済み)



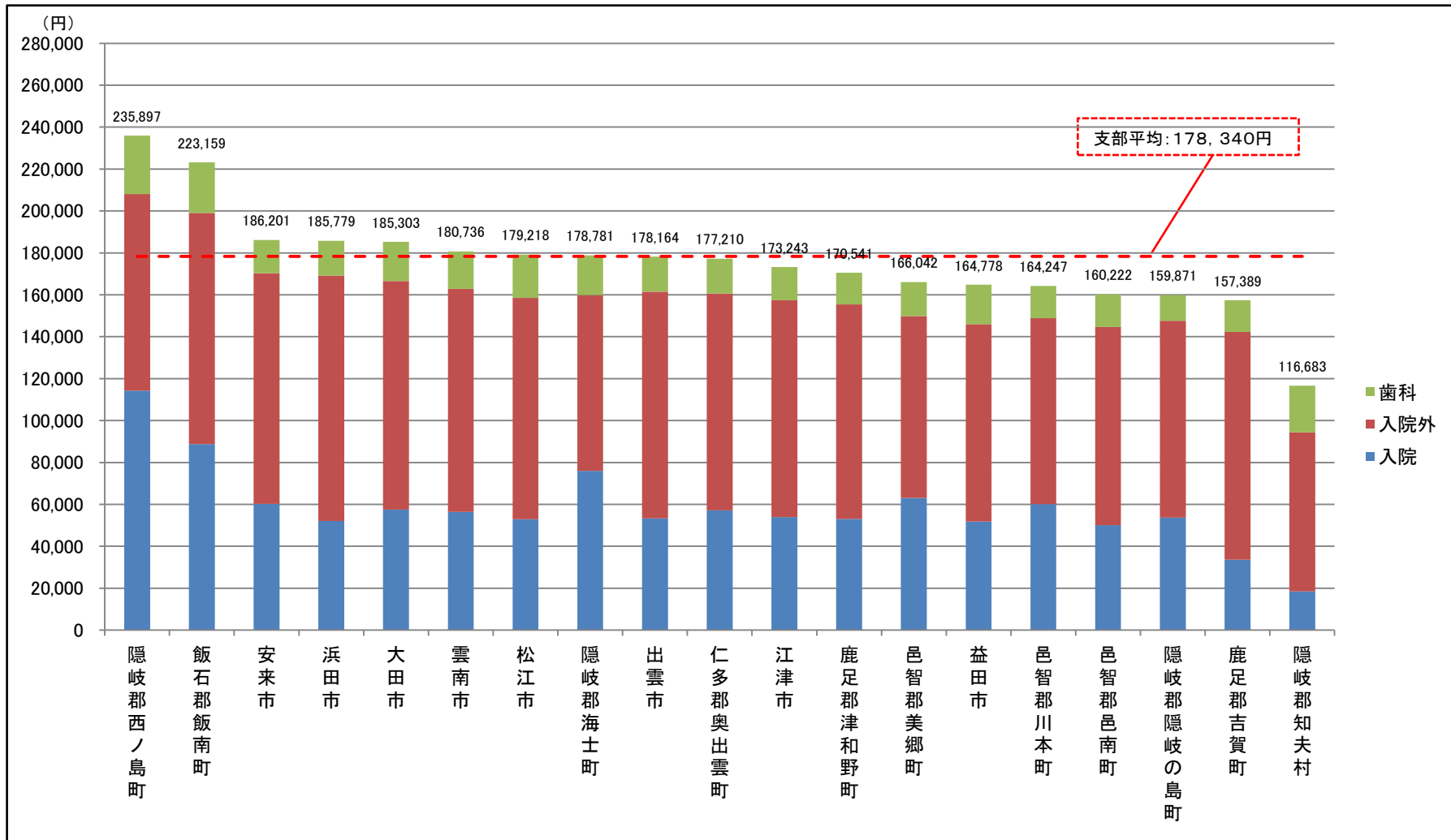
(3) 加入者1人当たり医療費(男性、年齢調整済み)



★男女ともに知夫村の医療費が特に低くなっているが、知夫村の加入者数は男性36人、女性51人のため統計としては不十分と考える。

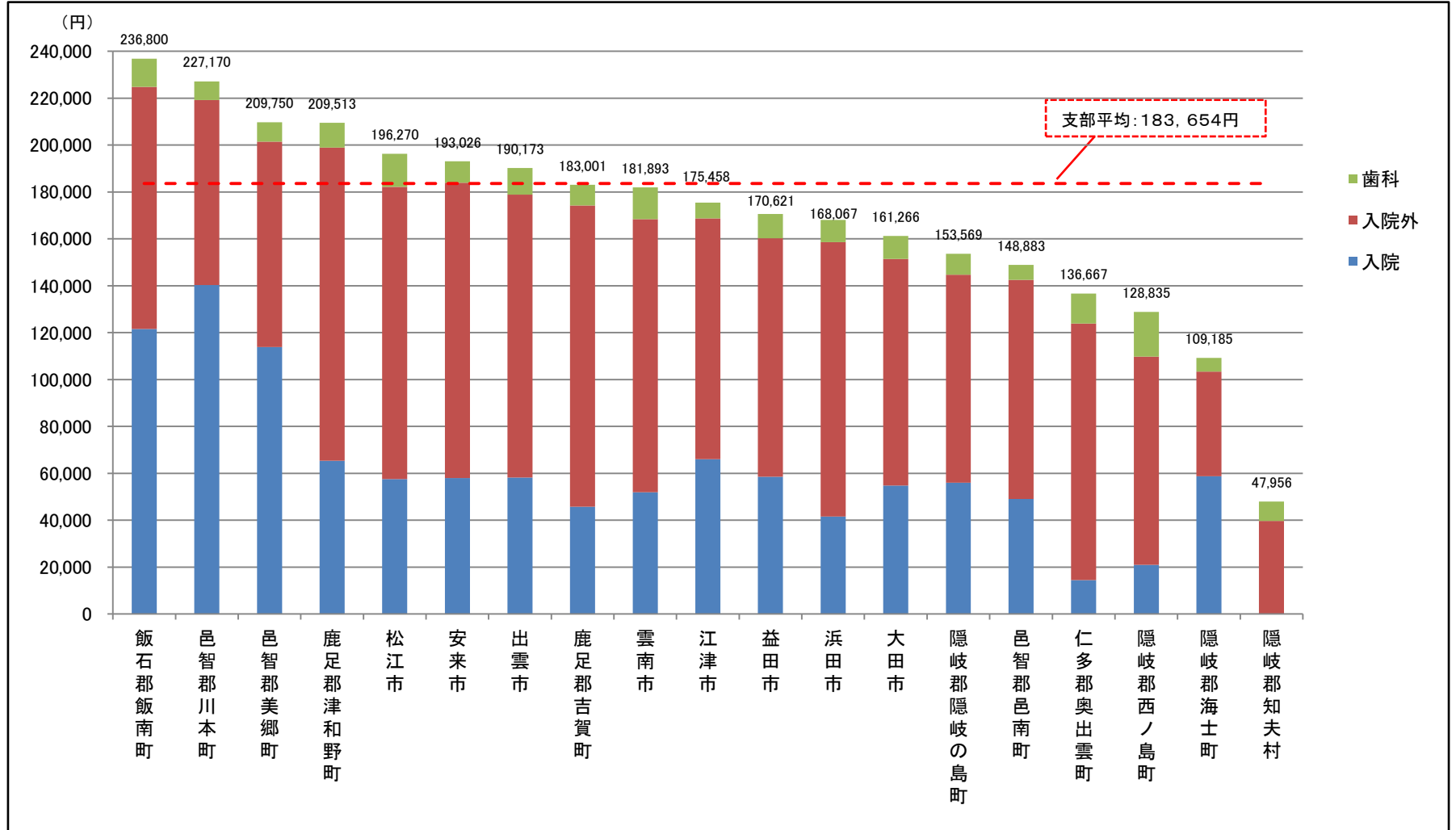
男性で医療費が最も高い津和野町は男性加入者数2,451人、女性で最も高い西ノ島町は女性加入者350人のため少数が引き上げているとは考えにくい、「市」単位の医療費はある程度均衡していることから、分母が1万人を超えると統計結果として分析対象となると考えられる。

(3) 加入者1人当たり医療費(女性、年齢調整済み)

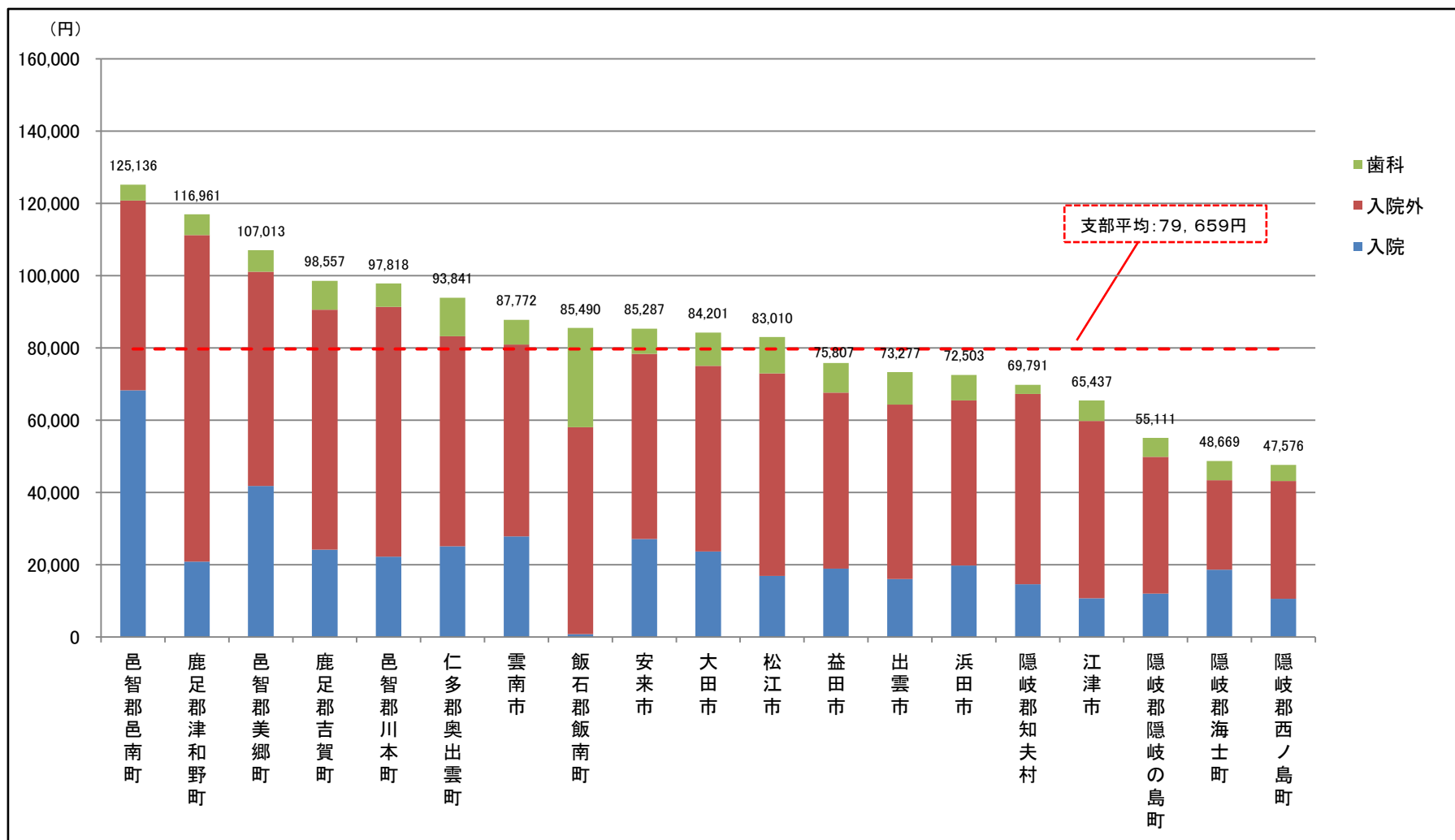


2.市町村別 年齢階級別医療費(平成28年度)

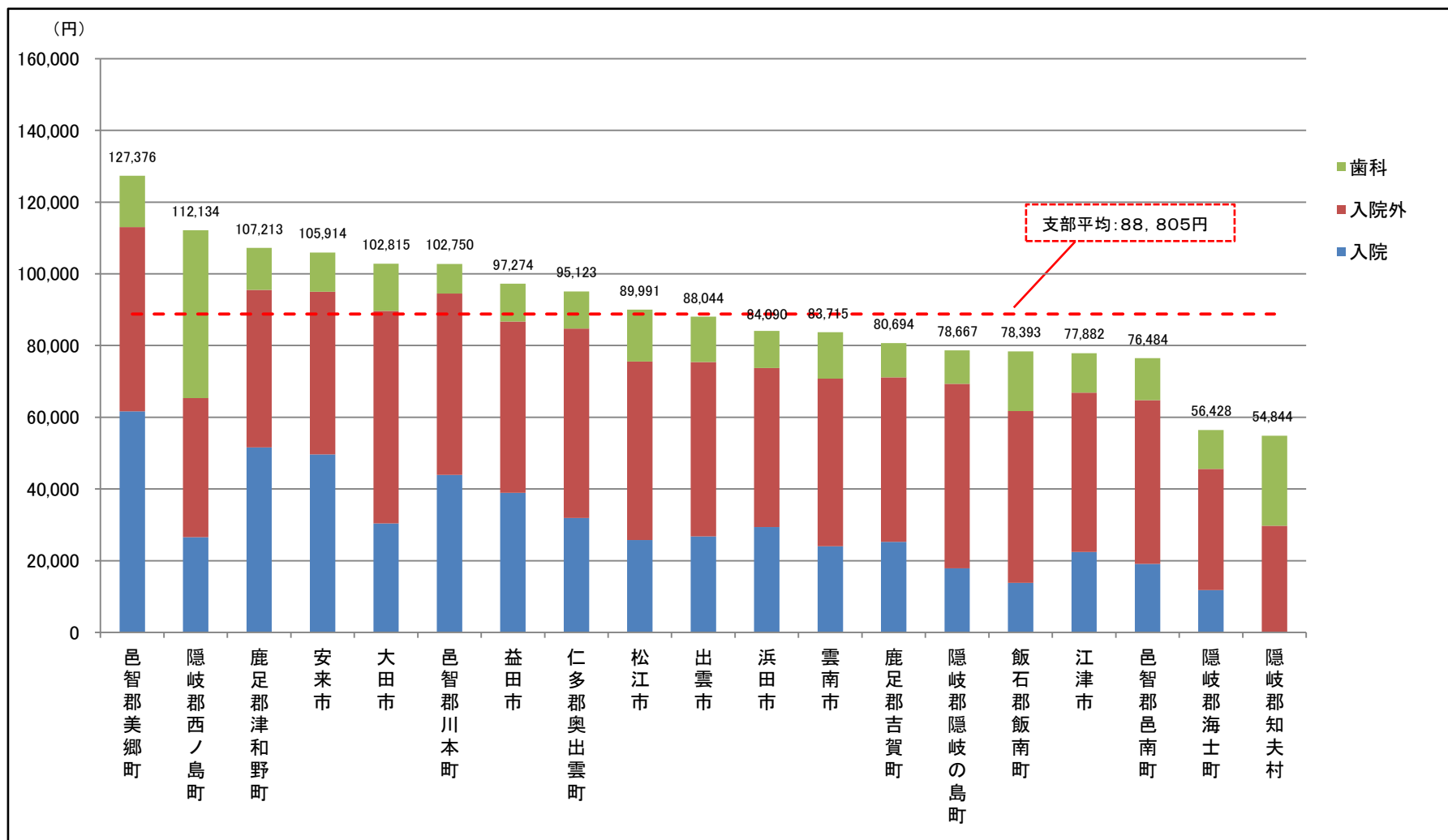
(1)0～9歳の加入者1人当たり医療費



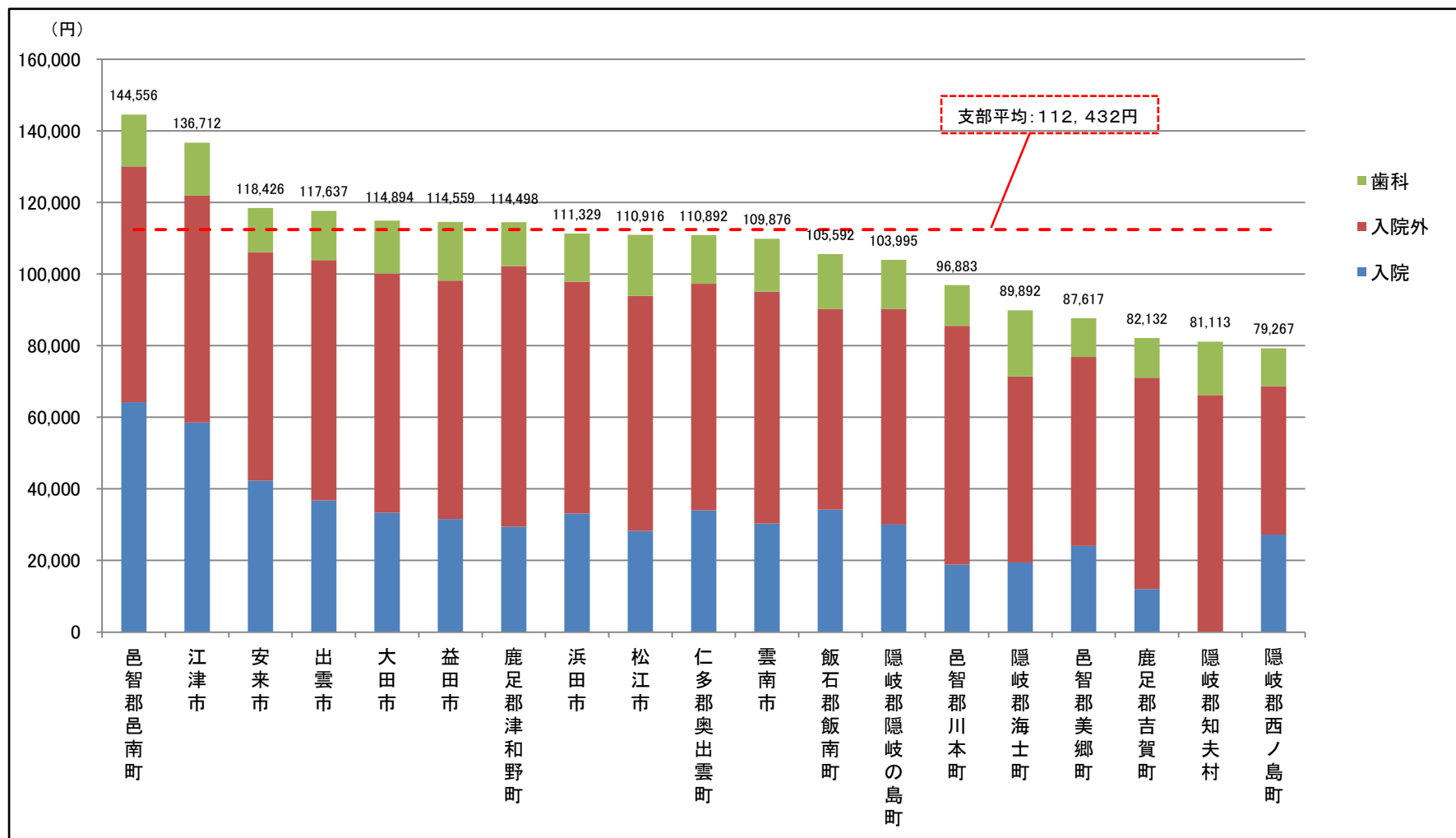
(2) 10～19歳の加入者1人当たり医療費



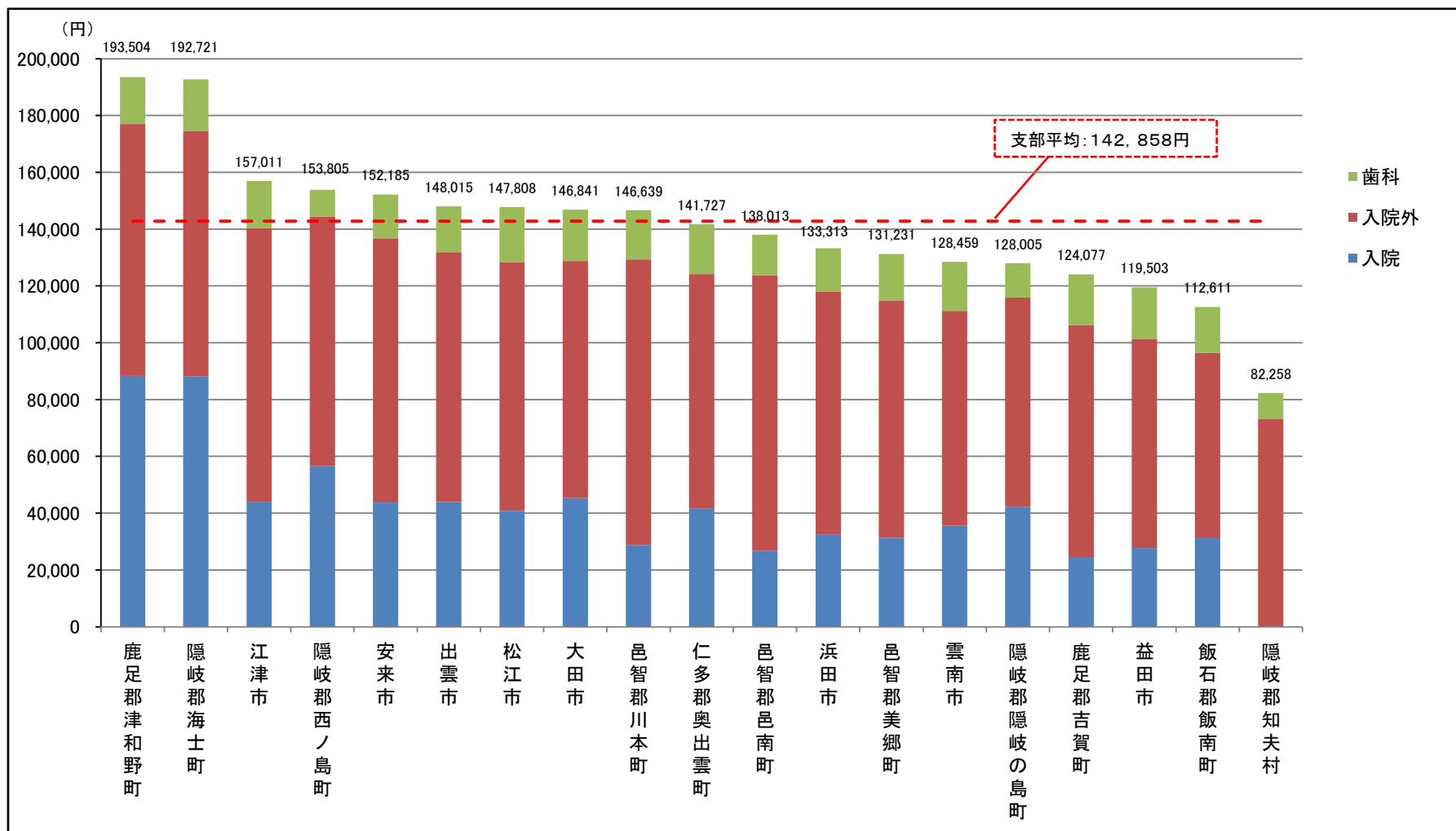
(3) 20～29歳の加入者1人当たり医療費



(4) 30～39歳の加入者1人当たり医療費

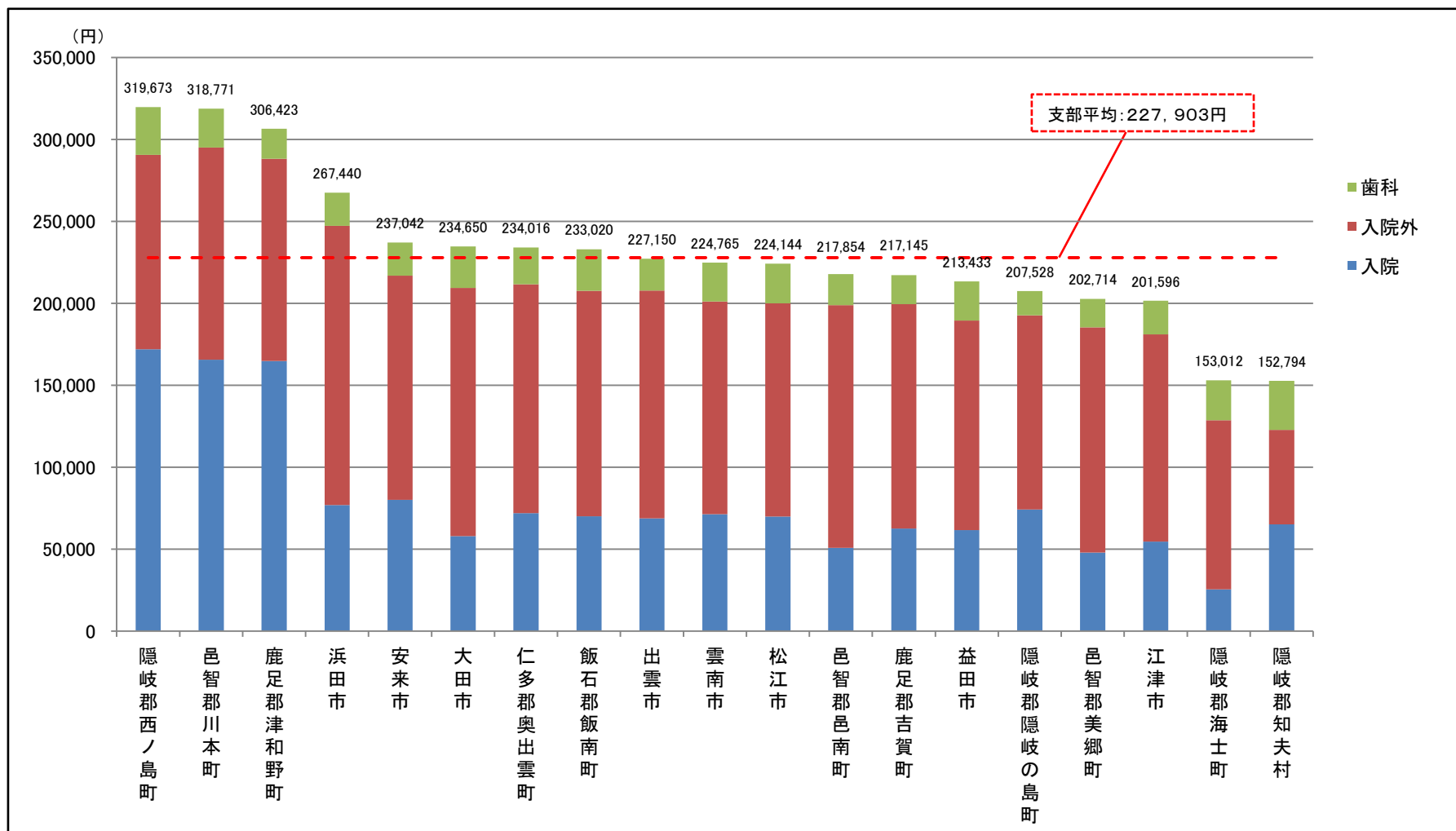


(5) 40～49歳の加入者1人当たり医療費

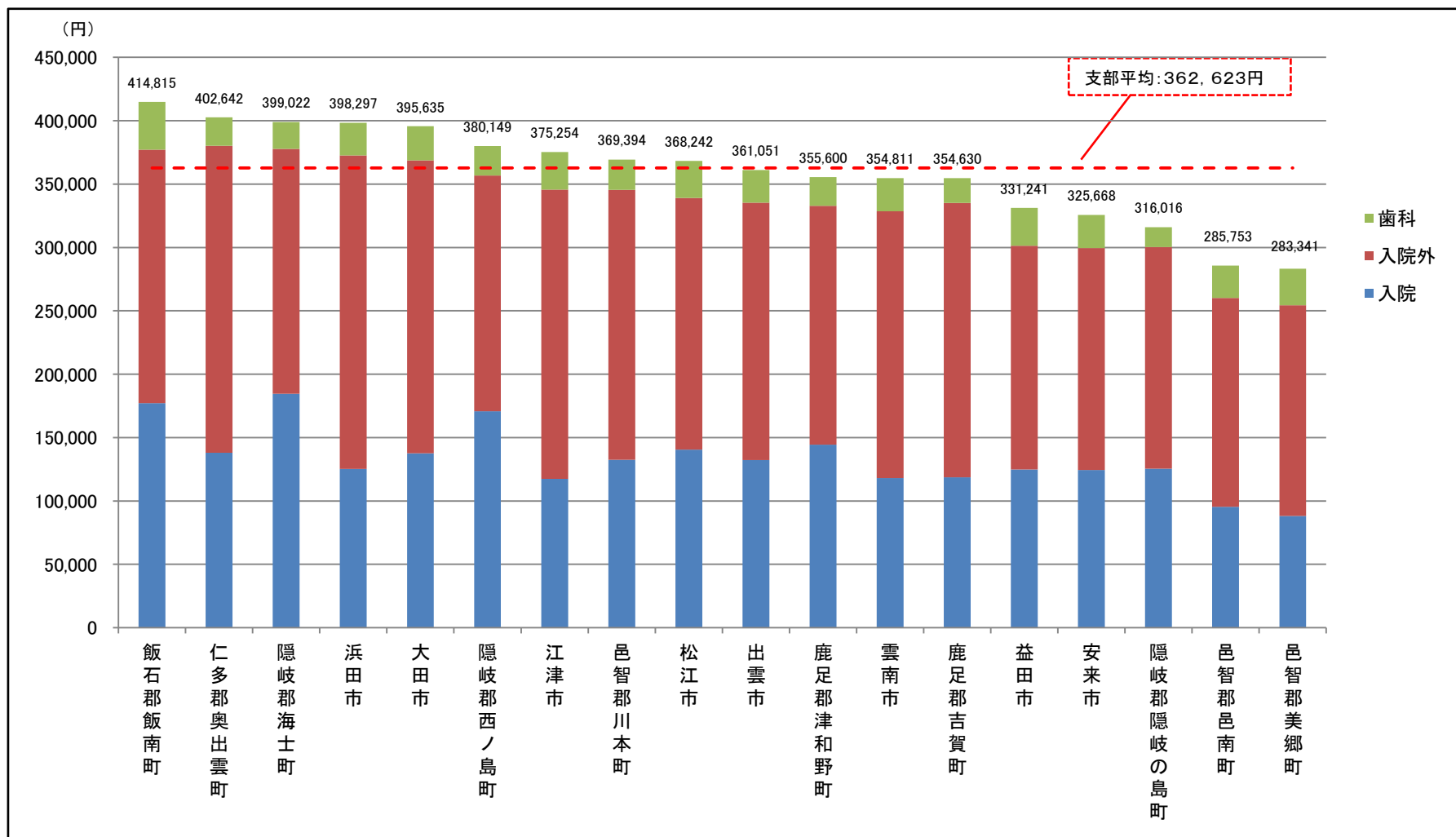




(6) 50～59歳の加入者1人当たり医療費



(7) 60～69歳の加入者1人当たり医療費

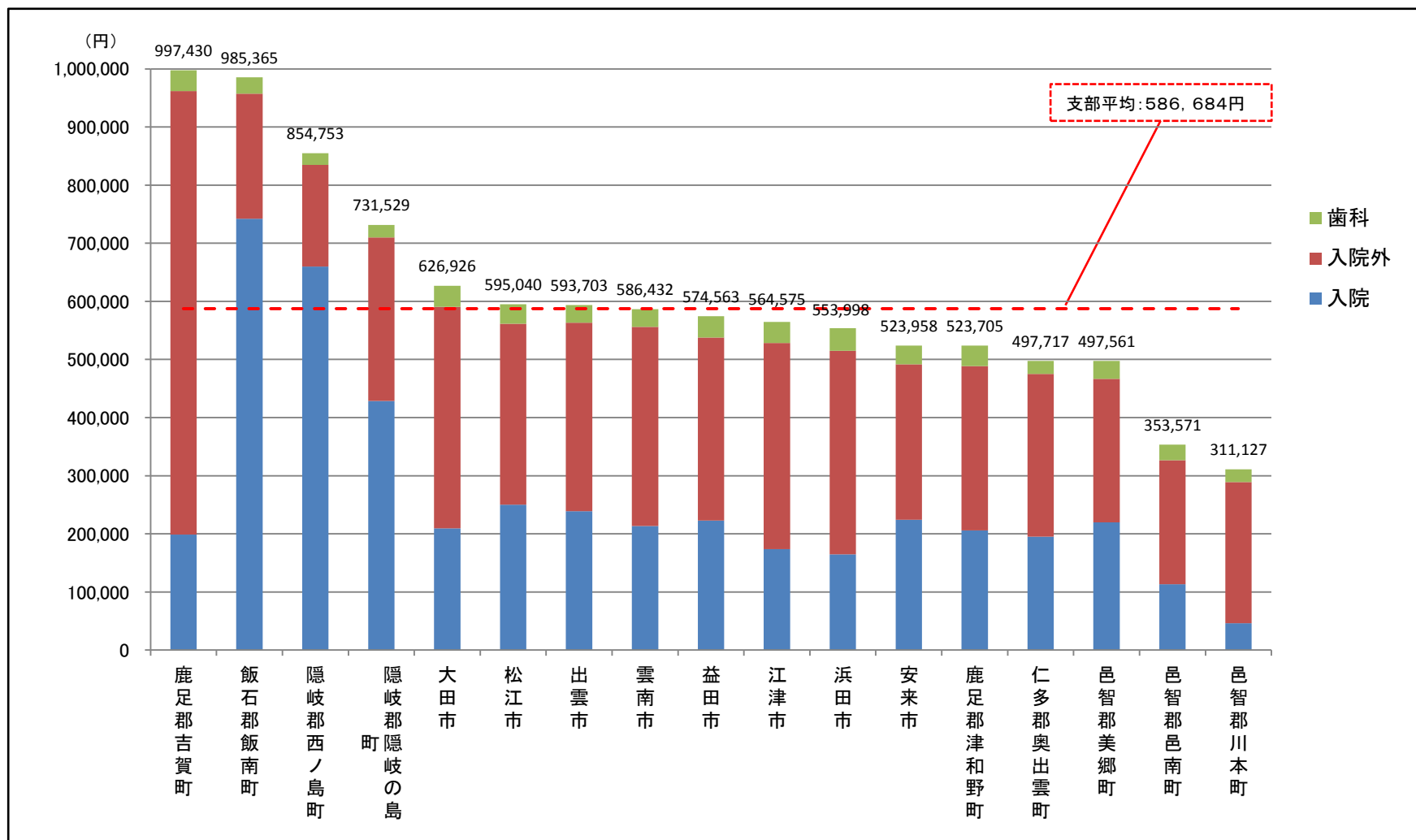


※知夫村は加入者が少ないため、個人情報に配慮して除外しています。

★医療費が高額になってくる50～59歳、60～69歳で大田市・浜田市の医療費が「市」の中で上位にいたることが、全体の1人当たり医療費においても上位になることとつながっており、益田市はその逆であると考えられる。

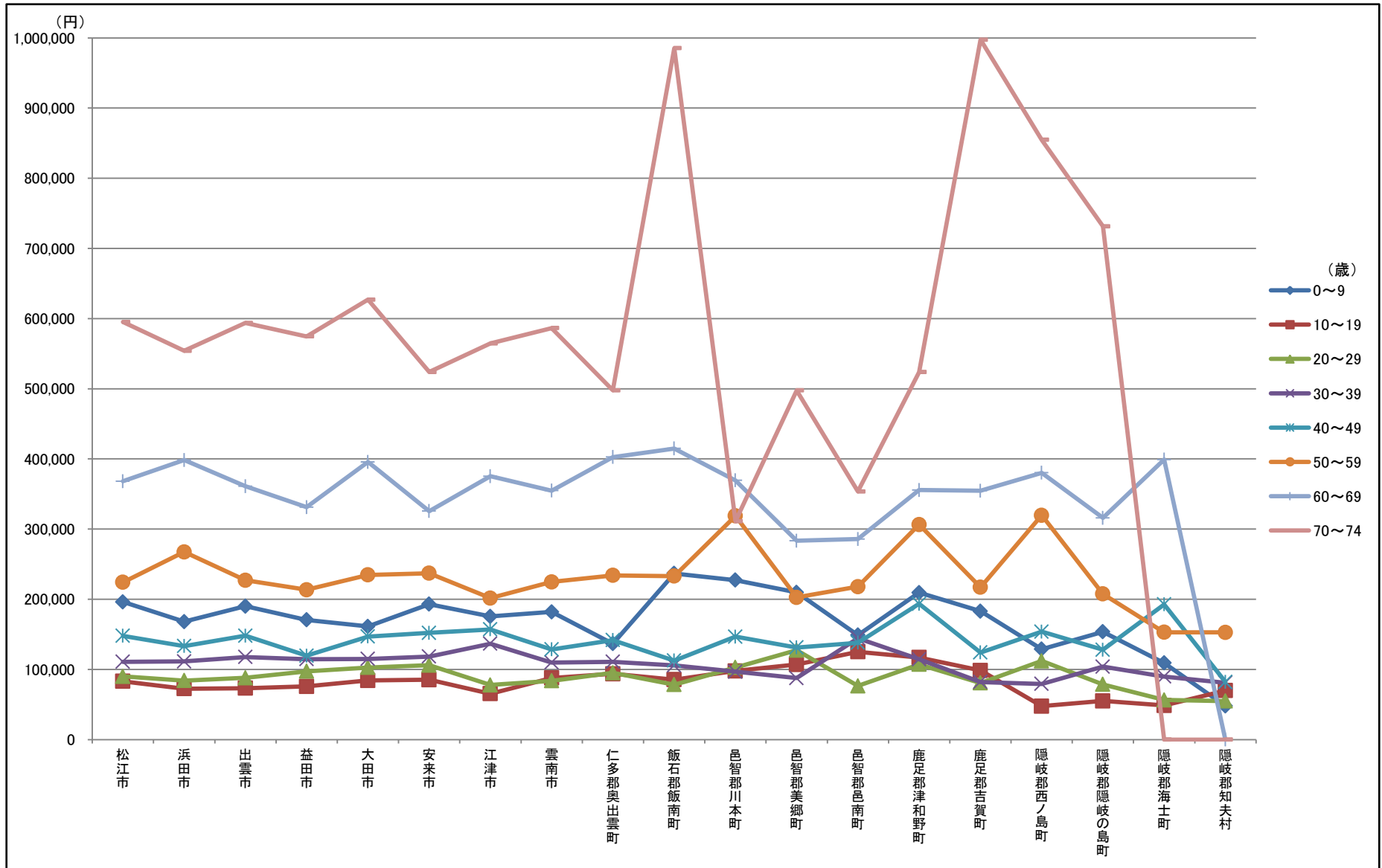
70～74歳の医療費では松江市・出雲市・雲南市が上位にいたが、この年代の加入者が少ないため全体に与える影響は少ない。

(8) 70～74歳の加入者1人当たり医療費



※海士町、知夫村は加入者が少ないため、個人情報に配慮して除外しています。

(参考) 地域別・年齢層別1人当たり医療費まとめグラフ ※加入者が10人未満の箇所は0円で表しています



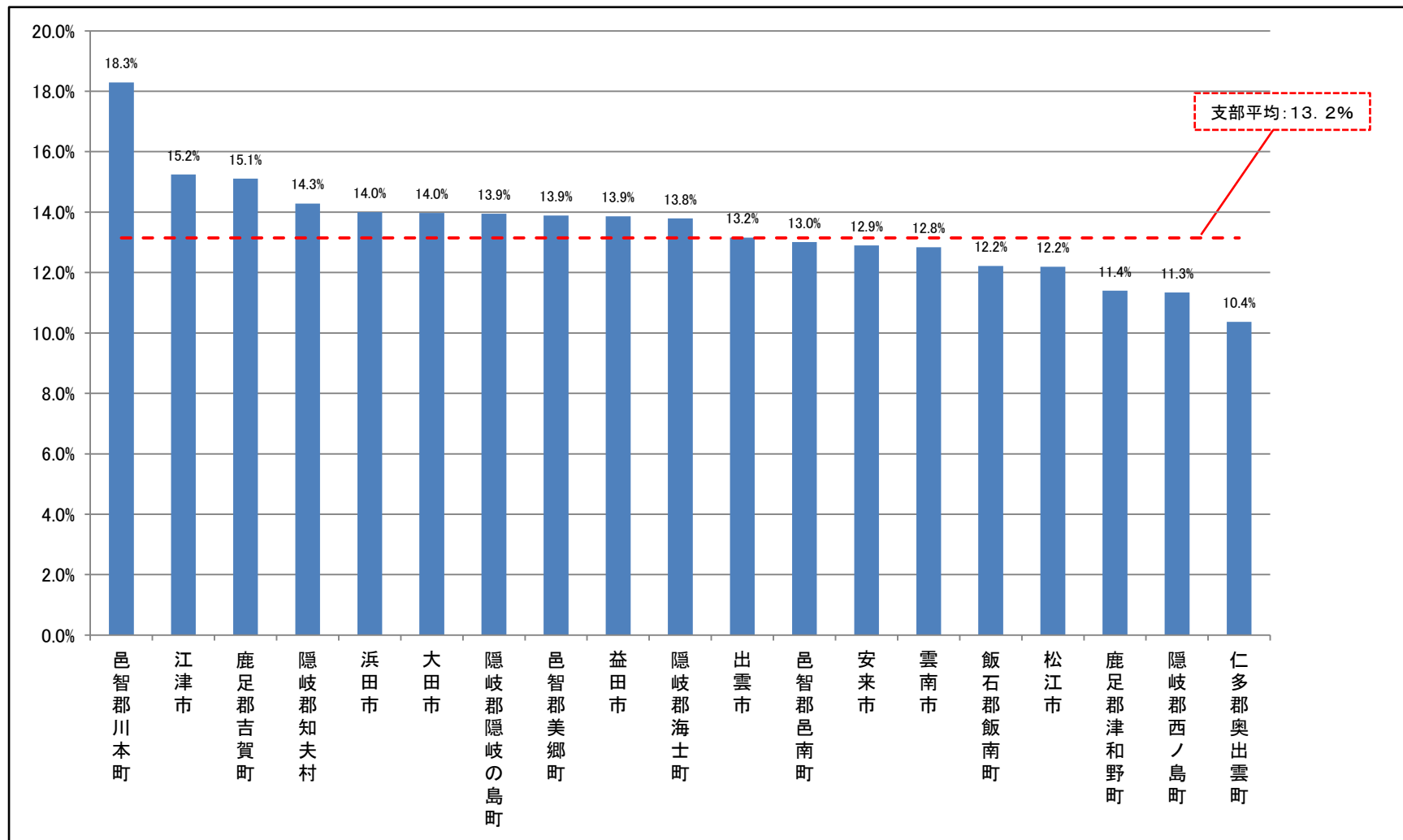
## (参考)地域別・年齢層別加入者数

市町村名	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	総計
松江市	7,641	8,022	8,541	10,246	11,470	9,502	9,161	1,378	65,961
出雲市	6,953	7,838	7,651	9,389	10,537	8,942	8,077	1,267	60,654
浜田市	2,229	2,414	2,432	2,945	3,378	3,315	2,978	417	20,109
益田市	2,155	2,387	1,907	2,689	2,932	2,881	2,698	327	17,975
雲南市	1,487	1,885	1,595	2,161	2,324	2,361	2,305	324	14,443
大田市	1,250	1,483	1,386	1,706	1,902	2,125	1,874	275	12,001
安来市	1,155	1,310	1,337	1,623	1,899	1,677	1,623	243	10,866
江津市	873	1,143	991	1,303	1,500	1,546	1,494	194	9,044
仁多郡奥出雲町	541	691	599	705	813	915	813	118	5,194
隠岐郡隠岐の島町	485	557	512	688	664	760	621	81	4,369
邑智郡邑南町	373	386	335	476	503	565	489	46	3,172
鹿足郡津和野町	264	269	274	360	374	404	444	62	2,451
鹿足郡吉賀町	167	224	277	267	240	343	275	24	1,816
飯石郡飯南町	163	213	198	219	249	294	281	28	1,646
邑智郡美郷町	200	201	151	250	257	248	255	38	1,600
邑智郡川本町	108	127	106	155	183	186	198	28	1,092
隠岐郡西ノ島町	77	76	75	112	114	112	128	11	705
隠岐郡海士町	87	85	83	114	116	108	81	9	681
隠岐郡知夫村	10	15	13	11	10	19	8	1	86
その他	2,340	2,452	2,799	3,567	3,907	2,742	1,918	282	20,008
総計	28,558	31,778	31,262	38,985	43,372	39,046	35,721	5,153	253,874

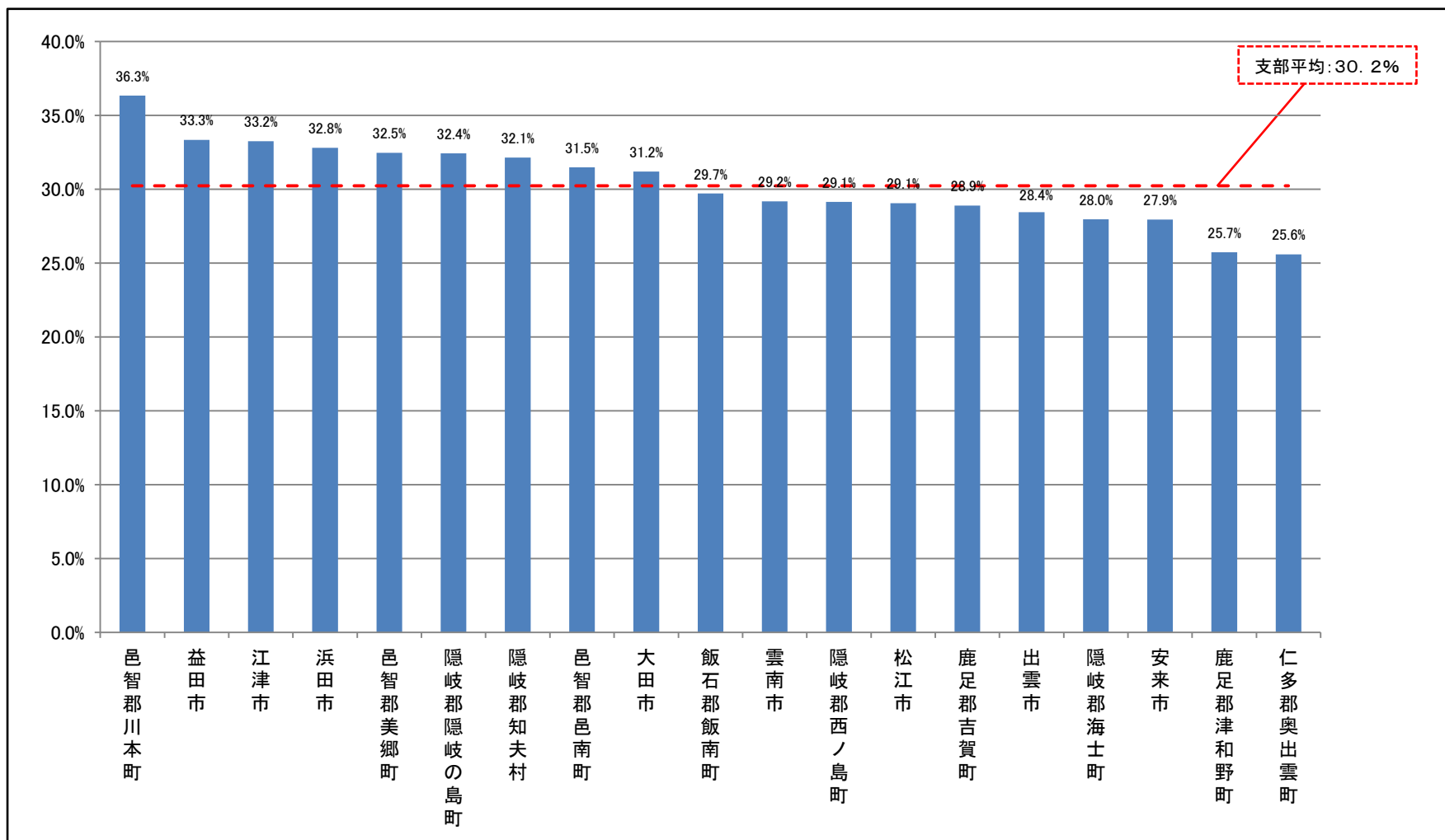
★メタボリックシンドロームのリスク保有率の上位3市である江津市・浜田市・大田市は、被保険者1人当たり医療費の上位4市(順位は大田市・浜田市・松江市・江津市)と近似しており、強い相関関係があると考えられる。

### 3.市町村別リスク保有率【被保険者】(平成28年度)

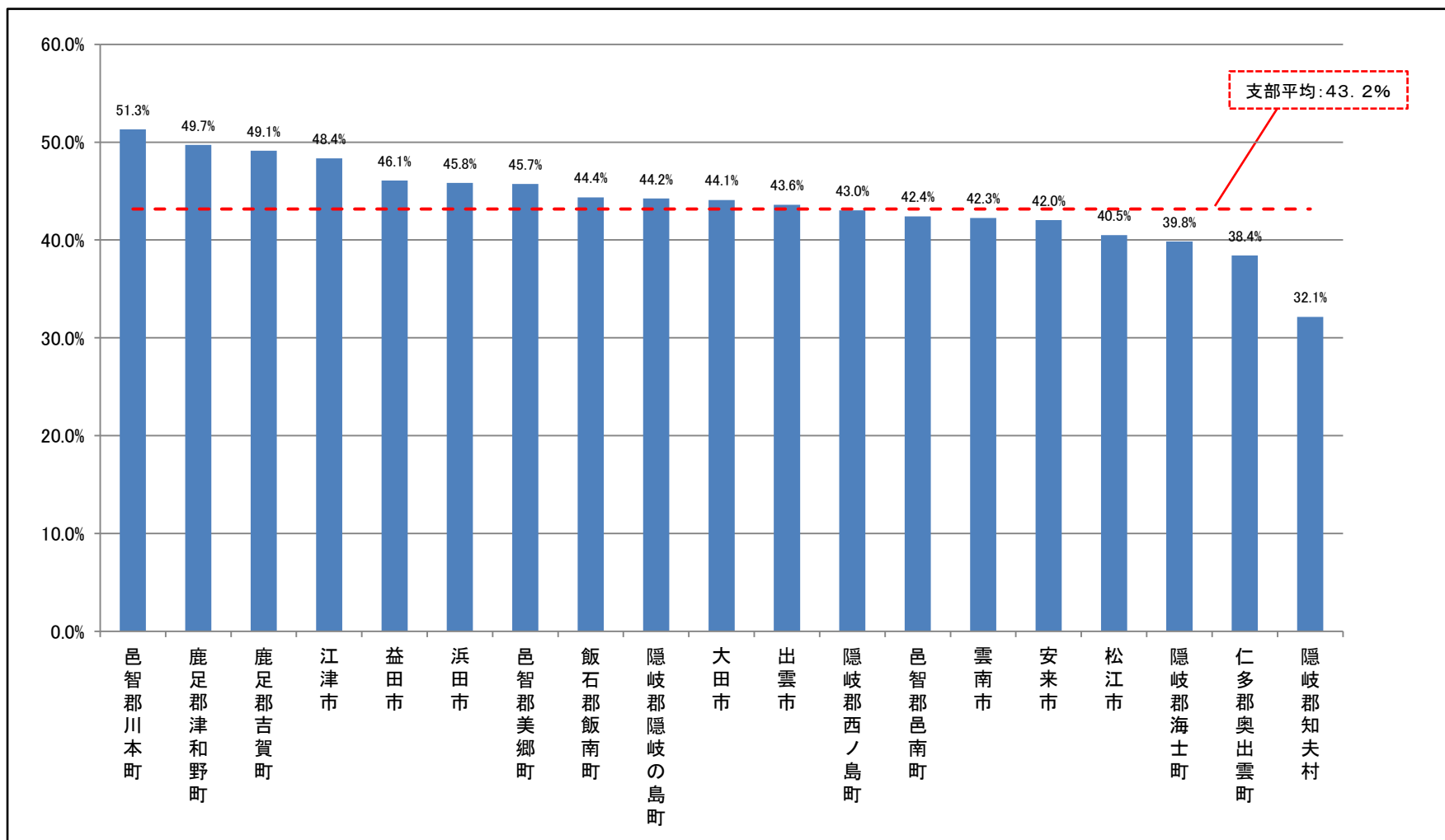
#### (1)メタボリックシンドロームのリスク保有率



(2) 腹囲のリスク保有率

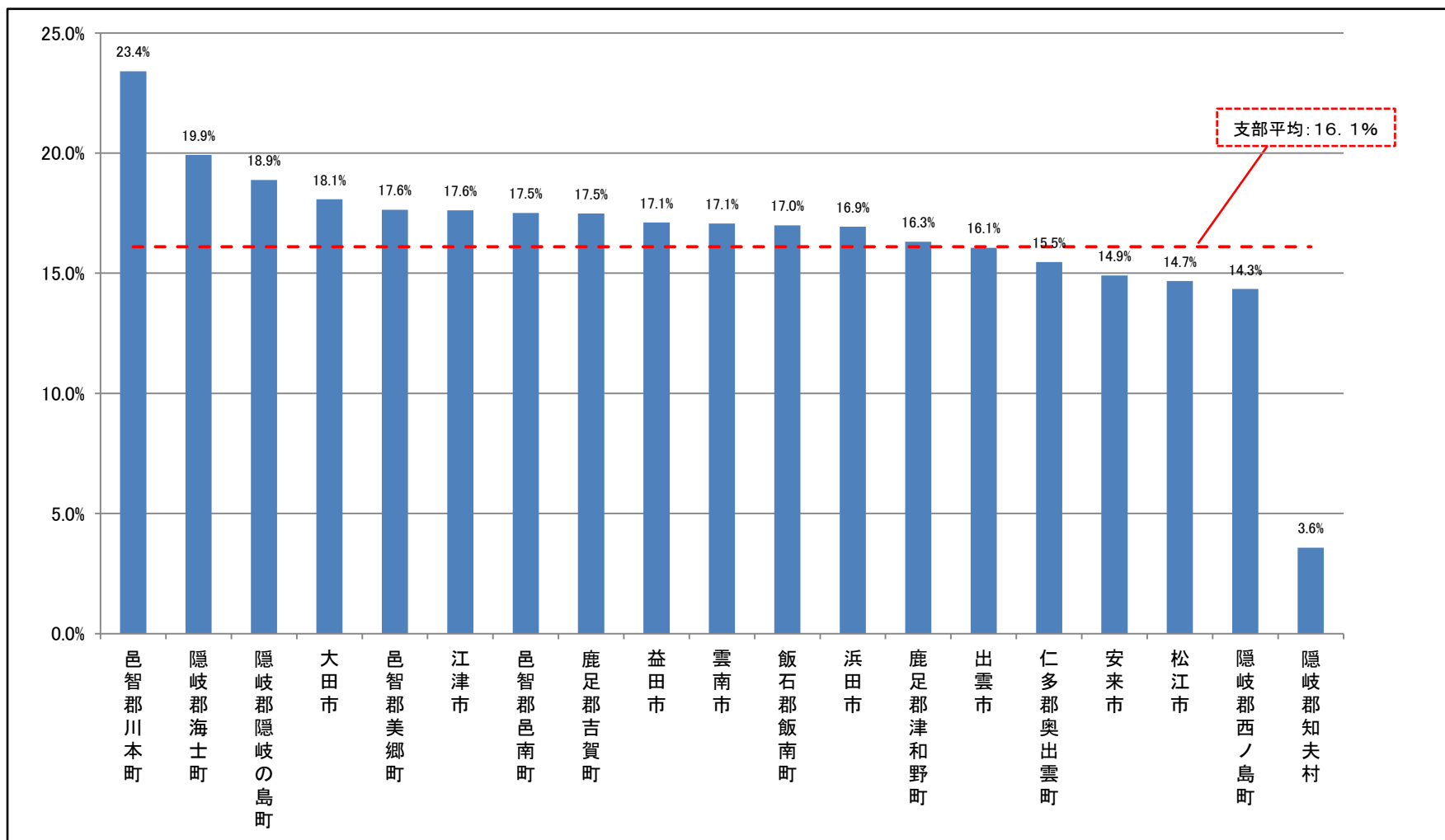


### (3) 血圧のリスク保有率

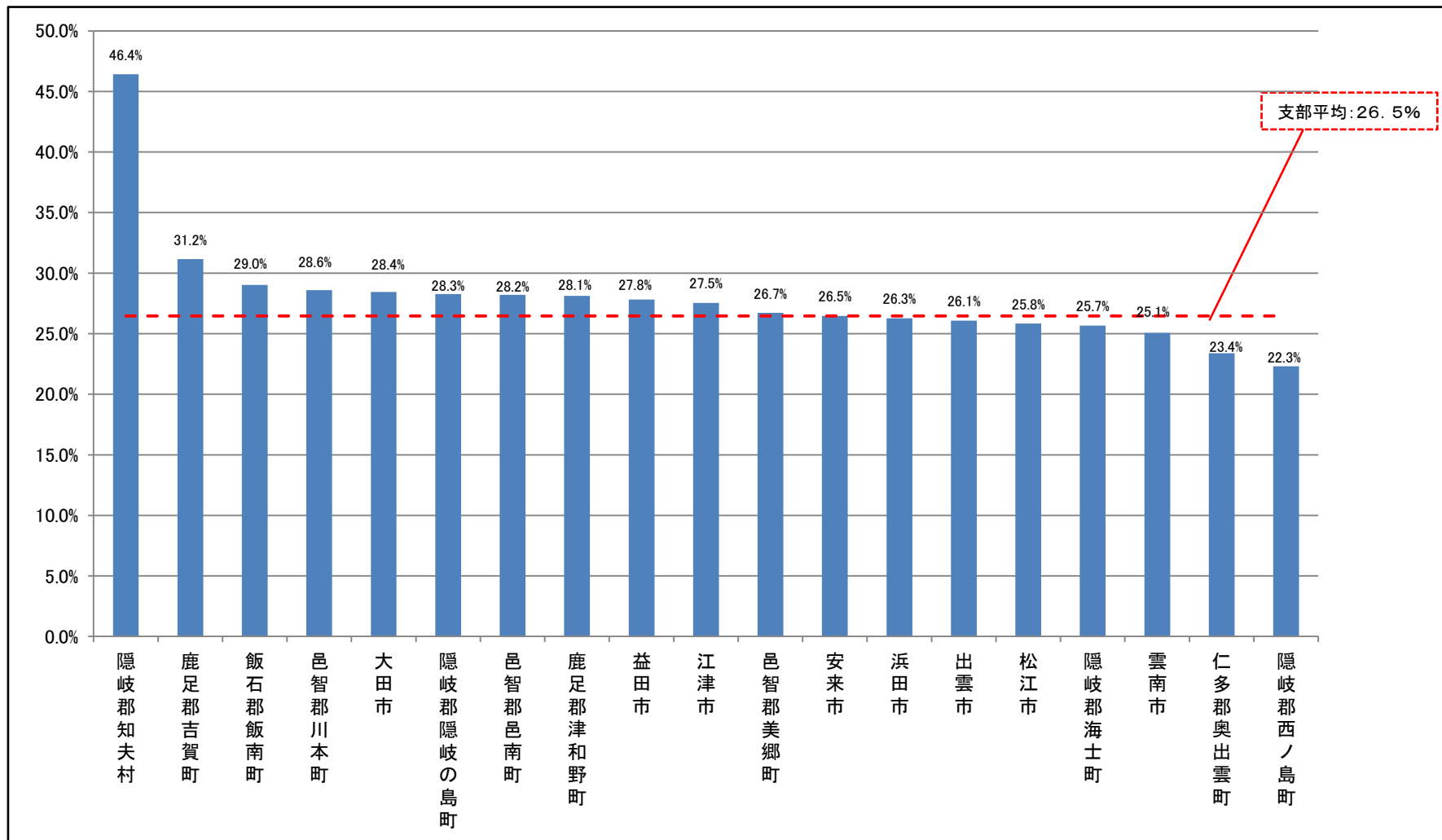




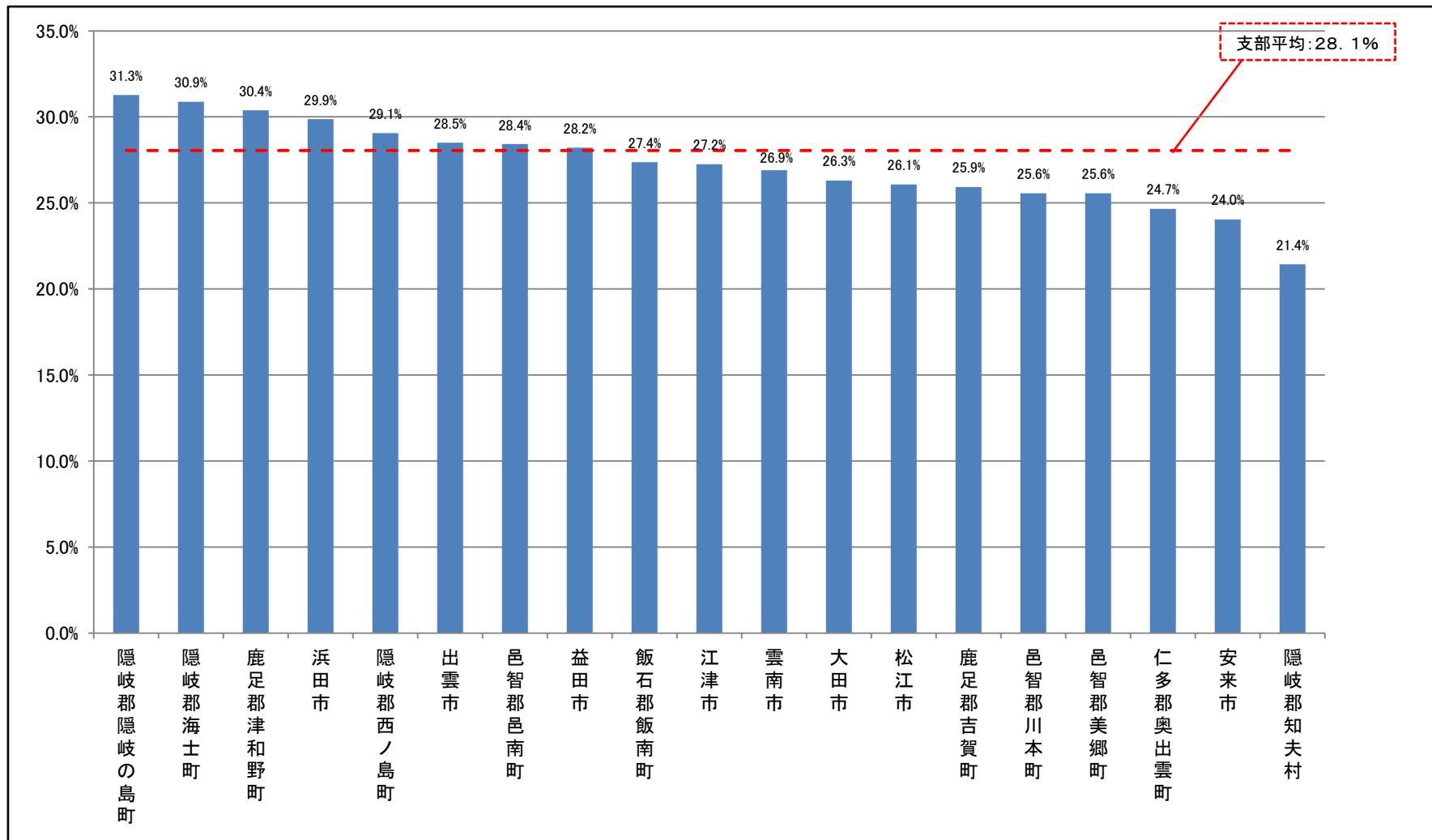
#### (4)代謝のリスク保有率



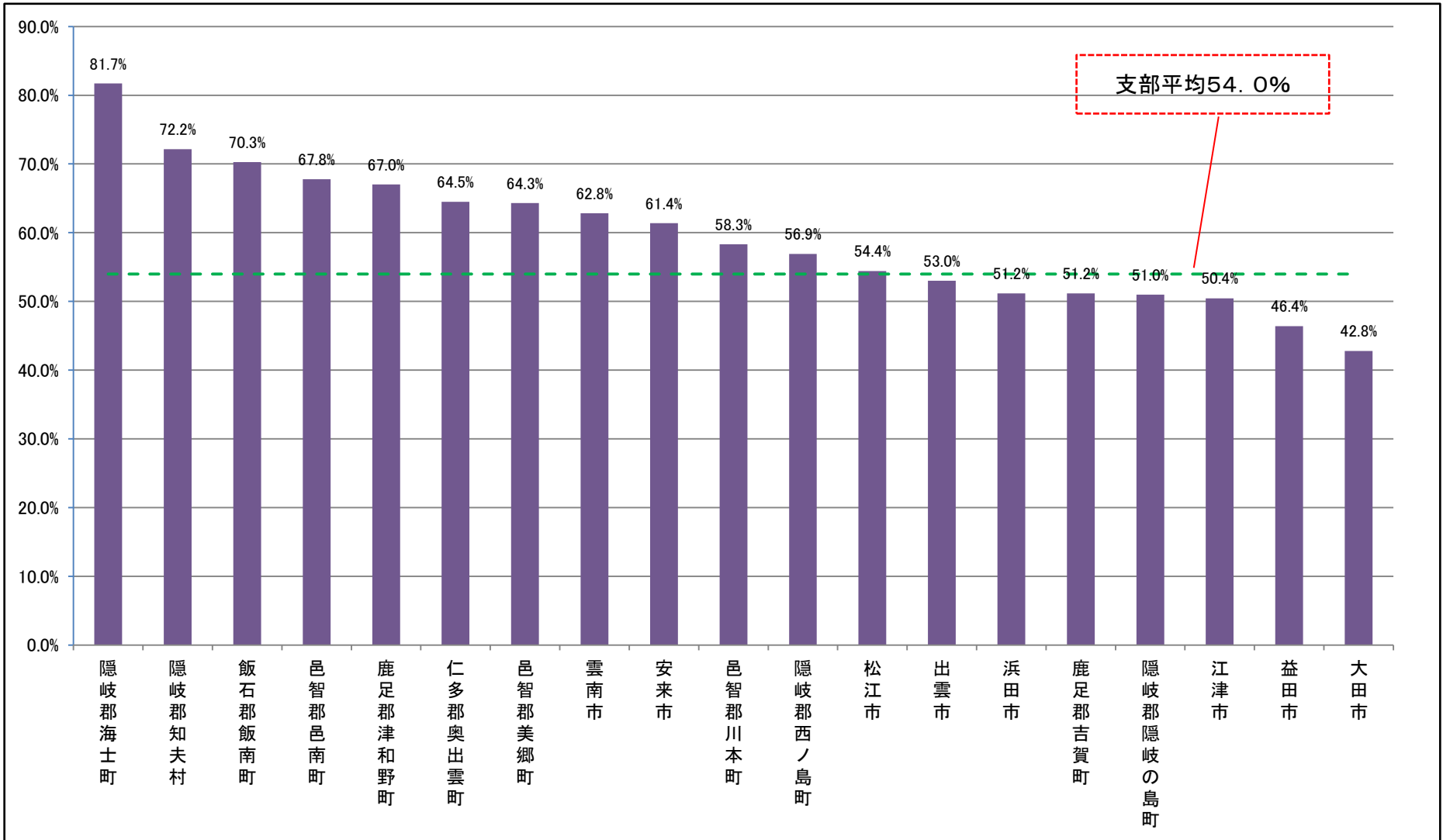
(5)脂質のリスク保有率



(6)喫煙率

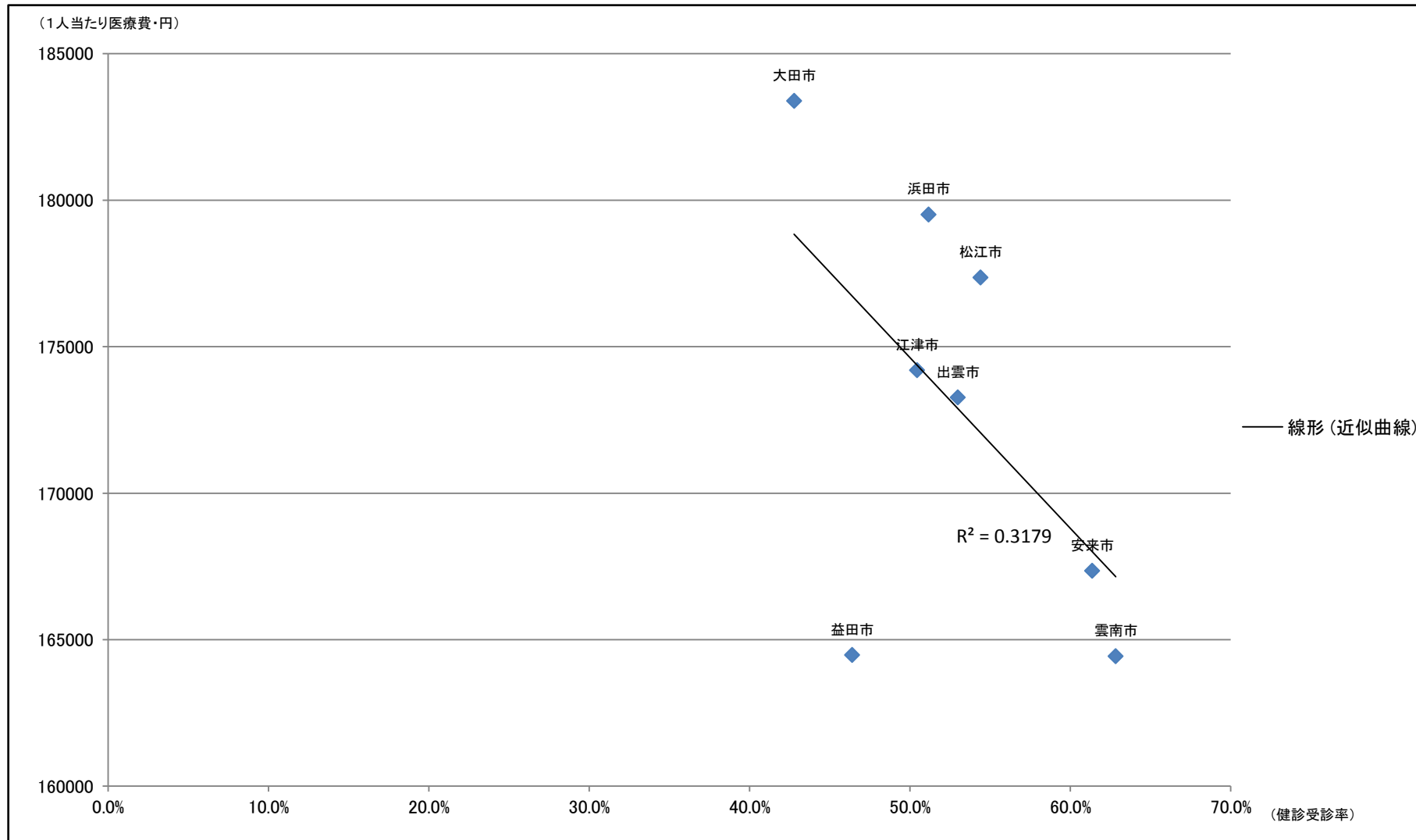


(参考)市町村別健診受診率(協会けんぽの生活習慣病予防健診)



★協会けんぽの生活習慣病予防健診の受診率が高い市ほど、1人当たり医療費が低い傾向にある。  
健診を受診せずにいると生活習慣病が重症化しやすく、医療費が高額になることがわかる。

(参考)市別生活習慣病予防健診受診率と1人当たり医療費の関係性



(参考)市町村別年齢階級別加入者数割合

### 年齢階級別加入者数割合

